

け

け (気) 【名詞】 何かが存在する気配 何かが現れる兆候 ある本能から発せられ、その本能の存在を感じさせるもの。雰囲気 気配 感じがある [会話] なんも (何も) ケな (が) 無い言う。なんも (何も) そこらん (に) おらせん (居ない) のを。ケもはざんだった (いけなかった)。けえもはざん (全く駄目だ)。何やかや (すべて) ケが無い言うやんかい (言います)。なんも (何も) 無いのを、ケな 無い。よごめ (よもぎ・蓬) 摘みに行くと よごめが そこらん (に) なんも 無いやんな (でしょう)。そすと ここら (そうするとこの辺) けえも無いやんかれ (ありません) 言うやんか (言います)。ケも無かってなあ なんも 言う事を ケが無い言うて。

け (食) 【名詞】 食事の一回分 ひとかたケ (志 (布施田、神明、立神、安乗)) [会話] 飯を いっぺん 食うのは ひとかたケ言うけどな (言います)。一食なあ、昼食まあ ひとかたケ抜いたれ (抜いた)、夕飯 ひとかたケ抜いた言うてなあ、一食の事 ひとかたケ 言うの。ひとかたケもよお食わんとおらんわれ (食べずに居られません) 言うて。

げ (家) 【名詞】 のゲ (お前の家) おれゲ (私の家) 人名、代名詞を受けて、その者の家を表す。け (家) の変化したもの カ (家) の呉音 (志 (布施田)、度) [会話] のゲや おれゲや言う ゲは、家になんの (なります)。のゲ言う あんた (貴方) の家の事、おれゲ言うのは わが (自分の) 家の事。

けあい (けあひ) (職合) 【名詞】 喧嘩 (志)

けいとき 【名詞】 鶏頭 けえとき参照 (志)

けいば 見栄 体裁 外見 けえば参照

けえ (けい) (景) 【名詞】 けしき 眺 情景 けいの訛 [会話] ケエ言うたら 景色の事。ケエがええなあ (よい)、あしこ (あそこ) の山から見ると どいらい (大変) ケエがええなあ。

けえ (気) 【名詞】 1) 気 気配 けの二拍化 (志 (布施田)、鳥、伊、員、三、鈴市、安、一、松、多、阿、張、名、度、尾) 2) 少しも 全く [会話] ₂) ケエも無い言うな (のは) なんも (全く) 無い言う事を、ケエも無かって。こやあれ (これ) まあ、だいこ (大根) 蒔いたや (たら) 虫な (が) 皆くたて (食べてしまつて)、ケエもないよん、くたたない (ように食べてしまった) 言うて。₁) 気配な (が) するやんか (で

ないか)、なんやら (なにか) あすこい (へ) 来るよおな、気配な (が) するやんかあ 言うて、魚釣りん (に) いても (行つても) 喰わえて、くるよんなると (よくなると) ケエな (が) あんど (有る) 言うてな、今日は ケエな (が) なかつたよお言う。

けえ (毛) 【名詞】 髪、毛、けの二拍化 (鳥、伊、員、三、鈴市、鈴郡、安、一、松、多、阿、張、名、度、尾) [会話] 髪のケエ、頭のケエ、ケエな (が) 生えた言うの (のです)。髪の毛言うて“け”で 止めんねけど (止めるのだが) ケエ言うて 髪のケエな (が) 入いっとて (ていて) こやれ (これ) 言うてな。飯ん (の) 中ん (に) 入いっとたり (ていたり) 何かに入いっとると (ていと)、髪のケエな (が) 入いっとた (ていた) 言うてな。

げえ (げい) (芸) 【名詞】 修練によって身につけた技芸 げいの訛 [会話] 踊るゲエとか なんやかや (いろいろ) こしらえる、ゲエとかなあ、縫いもん (物) するとか 編みもん (物) するとか言うものなあ あの人 ゲエ 沢山持っとて (ていて) 言うて。なんでも、よお (なににでもよく) する人をな ゲエは 身を助ける言うてなあ ゲエ沢山で あのひた (人は) 言うてな。

げえ 【名詞】 嘔吐 その動作、発語から出た (志 (布施田、鶴方)、鳥、一、上、阿、張、名) [会話] むなぐるして (しくて) まあ ゲエゲエな (が) 出て来たとか げつぶな (が) 出て来たとか言うねな (言うのです)。なんやら (なにか) 食い過ぎて ゲエすんね よお (するのだ) 言うて ゲエしたてやら (とか) 下痢したてやら 言うて。

げえあげる 嘔吐する

けえかい (経界) (境界) 【名詞】 地所などの境 くぎり境界 けいかいの訛 (志、北) [会話] 屋敷 (土地) のケエカイ 立てる時 たんべつせな (測量しなければ)。

けえかい (警戒) 【名詞】 万一に備えて用心する事 けいかいの訛

けえがない。けえなない 全く無い 皆無だ け参照 (志) [会話] ケエナナイ言うのは 気配もなんにも無い 来るよおな気配もないし 来る言うても なかなかきやせんと (来ないと) こや (これは) 来る気配も無いわれ (無いです) 言うしな あんまりおっそい

とな (あまり遅いと) きやせんと (来ないと) 来るよ
おな、ケエナナイど (ぞ) まあ言うてなあ。

げえがない。げえなない 人に見せるような芸を持って
いない [会話] ゲエガナイ言うのは なんもよおせ
ん (なんにも出来ない) 言う事な (です)。てづちの
てんぼの事なあ (です)。てづちのてんぼ言うのも
ゲエガナイも一緒。げえ無しや (だ) 言うて なんも
よおせんと (全く出来ないと)、げえの無いにげや
(人間は) 無いけどなあ (が) 誰でも ひとしな (一
品) ふたしな (二通り) げえは有るけど 特殊なげえ
持つとる (ている) にげや (人間は) またあれやけど
(別だが)。

げえげえ【名詞】 嘔吐 嘔吐する時の声から (志、張、
名、度) [会話] ゲエゲエ言うのは 吐喀する事なあ
(です)。ゲエゲエ言うのは、なんやら (何か) むな
ぐるし (胸苦しい・不快・悪心を生ずる) なって、吐
くやろ (でしょう)。そすると (そうすると) それを
ゲエゲエ。猫が 反吐吐いととる (吐いていると)、
猫が吐喀しとるがよ。猫な (が) よお (よく) ゲエゲ
エはきよる (嘔吐する)。吐いといて (吐いておい
て) おぞげ (総毛) が 立つやんかい (立ちます)。
にげ (人間) も 胸苦して (しくなつて) げえ申した。
ゲエゲエ 吐いた言うてなあ。げえする言うのは 吐
く言うの (のです)。昔 ゲエゲエ吐いた言うたけど
(言ったが) 今しや (今は) げえして言うてなあ。

げえき (けいき)【名詞】 景気 けいきの訛 経
済活動の動行

げえこ (稽古)【名詞】 けいこ 復習 練習 学んだ事
をくり返し行う事 けいこの訛 (伊、鈴市、松、尾)
[会話] 習字のケエコとか、手芸のケエコとかなあ、
海女もぐる ケエコもせなはざんわれ (しなければ駄
目だ) 言うしな、百姓のケエコもせなはざんわれ。な
んでも (何でも) げえ (芸) を 習う事を ケエコせ
なはざん 言うて なんも (少しも) ケエコしたこた
(事は) 無いんよってんなあ (無いのだから) 言うて
なあ なんもよおせんと (なんにも出来ない) 習う事
を、ケエコや (だ) 言うの。

げえこ (芸子)【名詞】 芸者 (志、伊、津、松、多、上、
阿、張、名、尾、熊) [会話] 芸者 ゲエコ 踊り子
芸者の事を ゲエコ言うやんかい (言います)。

げえこあま【名詞】 学校を終へ海女の練習中の人
(志) [会話] ケエコアマ言うとなあ ま がっこお
りて (学校卒業して) すぐん (の) 海女のげえこなあ
(稽古を) すんのを (するのを) ケエコアマ。ケエコ

アマで まだなんもよお獲らん (少しも獲れない) 言
うてな なんも よお獲らんと (獲れないと) ケエコ
アマやもんなあ (だから) 言うてな、もぐん (潜る
のを) けえこすん (稽古するのを) ケエコアマ言う
のな。はまこの事や (です)。おしま (大島) の浜い
(へ) 降ろしてもおて (もらつて) はまこしょおや
(しましょう) 言うて、沖い (に) よおいかんやんな
い (行かないでしょう)。ふつかいとこい (深い所
に) よお潜らんもんで (潜れないので) そんで (それ
で) 浜に降りると、下でも上でも思うとこい (所へ)
行かれるもんでなあ (もので) おしま (大島) の浜い
(に) おりてなあ あっさい (浅い) とこ、えつてな
あ (選んで) 行くの (のです) けえこ (稽古) する
海女なあ (が)。

げえごと【名詞】 芸事 遊芸に関する事。げいごとの訛
げえさつ (けいさつ)【名詞】 警察 巡査 警察官の略
警察署の略 (三重県全域) [会話] ケエサツ言うのは
警察。

げえさん (けいさん)【名詞】 計算 数える事

げえしき (けいしき)【名詞】 形式 外見 外に見える
状態

げえしきぶる 格式ばる よりよく見せようと振舞う
[会話] 上品ぶつて、知ったふりしてなあ、すんのを
(するのを) ケエシキブル言うて。知らんとおつて
(知らないのに) 知ったかぶりすんのなあ (するの
です)。ケエシキブツてまあ、偉いさん (偉い人) の前
や (だ) おもて (思って) 言うてな、なんも知らんで
も (少しも知らなくても) ケエシキブツトンネど (て
いるのだ) あや (彼は) 言うてな えらそぶる言うね
(偉そうにする言うのです)。えらそぶつてまあ言う
てな。

げえしとけ 消しておけ [会話] げえす言うと消す。
なあごお (長く) 引つ張んのなあ (るのです)。ケエ
ントケ言うてな 消すとか 消せとか言やええだけや
けどな (言えばよいだけだが) ケエントケ言うて、な
あごお引つ張んのな (長く引つ張ります)。

げえじつ【名詞】 芸術の訛 学問技術

げえしや (げいしや) (芸者)【名詞】 芸達者な人 多
芸な人 げいしやの訛 [会話] なんでもよおして
(何でも出来て) ゲエシヤやなあ (だ) 言うて。子供
らな (が) てやい (手振り) して来ると ゲエシヤや
なあ 言うてな。あの踊る ゲエシヤやなしん (でな
くて) なんでも よお する人をな 歌も歌たや (え
ば) 踊りもすや (すれば) 仕事もなんでもするんやん

かい (なににでもします)。手芸でも なんでも (なににでも) そいな (そんな) 人をなあ ゲエシャや (だ) 言うの (のです)。海の事でも よおするし (よく出来るし) 踊りもするし、歌も歌うし、裁縫はよおするし (よく出来るし) 言うて、なんでもよおする 人をなあ ゲエシャ やなあ (だ) 言うの (のです)。

けえしよく (けいしよく) 【名詞】 景色 (上、阿)

けえず 【他サ五】 消す 火の燃えているのを止める 書画をけずったり、ぬりつぶしたりして見えなくする [会話] 火を消す言うのを ケエス 言うのなあ (です)。ひい (火) も、ケエシタカ 言うて ひいたきさんの ひい (火) も、ケエシタカ 言うて、かまどの事を ひいたきさんや (だ) 言うて。ケエス 言うて 消す 言うのなあ なあごお (長く) 引つ張んのなあ (張るのです) ケエシタカ 言うてな。消す 言うだけやけど (だが) 消す とか 消せ とか 言や、ええ だけやけど なあ ケエシタカ 言うて なあごおひっぱんのなあ。

げえする 嘔吐する げえ げえげえ 参照 (志 (鶴方、神明、立神、甲賀、国府、安乘)) [会話] 胸苦しくて来て 食べ過ぎて ゲエスル。へと (反吐) 言よ おったね (言って居たのです)。

げえする 1) 芸する 芸を演ずる げい 芸 習って身に付けるわざ 人前で演ずる特殊な技術 2) 行儀の悪い事 [会話] 1) あの人 は 芸者やなあ (です)。なんやかや (いろんな事) 踊ったり 手品したり すると 芸者やなあ。ゲエスル 言うな (のは) 踊ったり するしなあ、なんか (なにか) しても、あの人 な (の) する げえ見よまあ (芸見なさい) 言うてなあ しざま (仕方です)、なんでもこしらえるやんない (何でも作るでしょう) そすと (すると) あ のする げえ見よまあ 言うて。2) そして (そおして)、行儀のわり (悪い) と、人 な (が) あ のげえ 見よまあ (見なさい) 言うてなあ 見苦し すると あ のげえ見よまあ おなごさい (女なのに) 言うて わるわれよ おったわい (叱られました)。いろんな事をする 言う事をなあ そして 行儀のわり の ゲエスル 言うて。

けえせき (けいせき) 【名詞】 形跡 事の有った跡

けえた 消えた

けえてく 消えて行く 無くなる [会話] 物、植えても 雨 な (が) 降らせんもんで (ないので) みな 枯れや かしたたれ (枯らしてしまった) 言うて、ケエテク とか、かわかしたたれ (乾かしてしまった) 言うて。

けえづく 1) 産気づく 陣痛が始まる (阿、張、名)

2) 妊娠する 3) 色気づく [会話] ケエツク。2) 妊娠のけえな (が) 有るとか、あ のかあ (子は) はら んどんのかして (妊娠しているのか)、けえ が あ の かして (有ると見えて) げえげえ と なんや、えづい て (なにか嘔吐して) まあ ケエツイテ 言うて。3) あ のかあ (子は)、ちよいと (少し) イロケツイテ 来て、あれと、けえ な (が) あるふうやど 言う。逢い引きするとなあ けえ な (が) 有り そお な ふうやど (様子だぞ) あや (彼は) まあ 言うて、1) 陣痛 な (が) 始まって くんの も (来るのも) けえ な (が) して 来た言うのな。けえ 出して来たどお (のだ) 言うて な 陣痛 な (が) してくん のを はら け な (が) して 来た言うて、陣痛 や (だ) 言うな (ような) こつ ぺた こた (高尚な事は) 言 お か い (言いません) はら け な (が) して 来た言うてな、はら け づい と ん ね て われ (ているのだ) さう だ 言うてな はら け な (が) して 来た は よ (早く) さん ば あ た の で (産婆頼んで) 来い 言うて。

けえと 【名詞】 毛糸 (伊、鈴市、上、阿、張、名)

けえとき 【名詞】 鶏頭 けい とう けい とう げ (鶏頭花) の略。花軸の頂きの部分が帯化して、鶏の鶏冠の形をしたヒユ科の一年草。茎は太く、直立し、高さ15~50cm、葉柄、葉とも赤味を帯びる事が多く、夏から秋にかけ、茎の頂きに帯化した花序を付け、その下部に小さい花を密生する。(志) [会話] 花 の ケイトキ か (ですか)、鶏頭 あ や (あれは) 墓 い (に) さす 花 やん か (です)。ケイトキ。

げえなこまかい する事が丁寧である。隅々まで行き届いている。

げえなし 1) その様な気配が全く無い 2) 不漁 (志 (船越))

げえにん (げいにん) 【名詞】 多芸な人 げえ しゃ に同じ

げえば (けいば) 【名詞】 みえ 体裁 外見 けい ぼう 形貌 か ち 姿 容 容 貌 [会話] み ば (見た感じ) とか そいな も ん (そんなもの)。ケエ バ な (が) ええ (良い)。ケエ バ ば っ か で (ばかりで) 言 う やん か い (言います)。み ば な ええ と (見た感じがよいと) ケエ バ ば っ か よ お て (ばかりよくて)、な か み や (中身は) なん も は ざん (全く駄目) で、ケエ バ よ お し て (よくして) う わ べ ば っ か (ばかり) 飾 っ て。体裁や そんな 外 から 見た 感じ だけ を ケエ バ。

げえはく 嘔吐する

げえも 【副詞】 少しも。少しもない。け参照 (志 (片田)) [会話] ケエ モ 言うな (のは)、ま あ (もう) 今

日は ケエモ無かったよお言うて、じょおし (漁師) の人な (が) 来ると 言うやんかい (言います)。なんも (何にも・全く) 釣ってこんと (こないと)、今日は ケエモはざんかった (駄目だった)。ケエモ無い言うのは なんも 無い言う事やなあ (です)。

げえもおす 嘔吐する [会話] むなぐるして (胸苦しくて) ゲエモオスやんない (でしょう)。かみつかう (嘔吐する) 言うて。

げえもない 少しもない。気配もない。全くない。(志 (片田、浜島、神明、立神、甲賀、安乗)、伊、松、多、度、北) [会話] なんも (全く) 無い、ケエモナイ、少しやなしん (でなくて)、なんも 無いのを、ケエモナイ 言うねんなあ (言うのです) からっぽの事を。

けえる (消) 【自ア下一】 消えるの約 姿形がなくなる (志 (立神)、鳥、伊、松、員、鈴市、一、多、上、阿、張、名、度、南) [会話] 消える言うのを ケエル。消しとけ (消しておけ) 言うて。火、消しとけとか、書いたじい (字) も、消しとかな (消しておかなければ) 言うてなあ、字書いたのおも (のもの) ケエセ (消しなさい) とか、火も ケエセとかなあ。

けえん 消えない

けがらし。けがらわし (けがらはし) 【形容詞】 1) 穢れた状態 汚ない 2) 転じて嫌だ

けがれ (汚れ) (穢れ) 【名詞】 1) 服喪中である事 ケガレがかかる (阿、上、張、名) 2) 月経 [会話] 1) ケガレタ、神さんに参ったけど ケガレとるよってん (ているから) 参ったらはざん (駄目) 言うてなあ。死人が出た家も そおやし (ですし)、血なついた人をなあ (血縁のある人) ケガレル 言うなあ。その家のにげやのおて (人間でなくて)、血な (が) ついとる ケガレル言うてな。

けがれる (穢) 【動詞】 1) 人の死や、出産などに関わって体が不浄になる (上、阿、名) 2) 月経になる (上、阿) [会話] 1) ケガレル言うて 神さんえ参って 死んですると ケガレル言うて 2) 月経ん (に) になると ケガレル言うしなあ。けがれとて (ていて) 宮さんえ参られやせんわれ (参られない) 言うて、うまれやとか (死だとか) おなごな (女が) 月経ん (に) なったりすると ケガレル言うて 言よおった (言っていました)。

げき (劇) 【名詞】 芝居 舞台の上で人に見せる為演ずる所作。転じて他人の前でよく見せようと振舞う事。

げぎらい (げぎらひ) (毛嫌) ひどく嫌う 鳥獣が相手

の毛なみによって好き嫌いする事から (広辞苑) (志 (布施田))

げぎれ (毛切) 【名詞】 性交時に陰毛でこすられて陰部の皮膚に傷がつく事 又、その傷 (志 (布施田)) [会話] 男な (が) おなご (女) ののおを (のを) 男のけえ (毛) で 切ったんねてわい (切つてやるそうです)、それを ケギレ言う。

げく (外宮) 【名詞】 伊勢の内宮に対する豊受大神宮、外宮 ここを合わせて伊勢神宮と言う。末尾うの省略。(伊、度) [会話] ゲク ないく 外宮さん言うのな (です)、ゲックさん言う。ゲックさんえ 先い (へ) 参いらな (なければ) 言うのなあ (です)。外宮言うのをなあ ゲックサン ゲク ないく言うて。

げげ (下下) 【名詞】 最も下手

げげげのげ (下下下) 最下等

げげこ 【名詞】 鶏 古語ではカケ、中国語、割鶏 (カケ) カケ、ケケ、ココと訛った (方言俗語語源辞典) (上、阿、張、名) [会話] 朝まあ こけここお言うて そや (それ) こここな 鳴いて来たれ (来た) 言うてな、ケケコやたら (だとか) こここやたら (だとか) 言うてな。

げげまあす 不作 下下柄の意か

げげましとる 下心がある 狙っている 惚れている [会話] あや (彼は) あれん (彼女に) ケケマシトル 言うて、惚れとて (ていて) まあ その人を 惚れとんど (ているぞ)、言うて、言いん (に) いくのを (行くのを)、ケケマシトル言うて。惚れとる (ている) 言うことは、口ん (に) 出させんねけど (ないのだが)、その家い (へ) いて、なんやらかやら、話して、世間話したりする内ん (に)、ちよいと (少し) 色気な (が) 有んね ゆうなあ (有るのだ言います) そいなのおを (そんなのを)、ケケマシトル あや (彼は) 言うて。あの人を 何時か、ものにしたろん (してやろう) 言うて、ねつるとる (ねらっている) 事を、ケケマシトル ケケマシトテ (ていて) 言うて、その本人は知らんのん (の)に 自分だけが惚れとて (ていて)、あれ 一つ ものにしたろ (してやろう) 思て、すんのを、ケケマシトル、ケケマシトル。

げげます 女性に対し下心がある。惚れて居る。狙っている。[会話] あや (彼は) あれを (彼女を) ケケマシとんねなあ (ているのだ) 言うて、惚れとて (ていて)、惚れとる (ている) 言う事は 口に出して言わせんねけど (言わないのだが)、その家いて (行っ

て) なんやらかやら 話しして 世間話するうちに ちよいと (少し) 色気な (が) あんねやろなあ (有るのでしょう) そいなのおを (のを) ケケマス 言うて。あの人を 何時か ものにしたろん (してやろう) 言うて ねつるとる (ねらっている) 事を ケケマス。

げご (家子) 【名詞】 下女 家族と同一の家で生活する手伝の女性。吾党に限り下女の事をケゴと言う。或説に家子 (ケゴ) の字なりと言へとも、家子ならば男女を通じて言うべきに女にのみ称するなり。或る人の言へるには、宇治の興米 (オコシコメ) を売る女、皆、奉公人なり。其の女、参官人に興米を売るとき必ず下向 (ケコウ) に、この所に買い給へと言うなるを口早に頻りに言うて、唯下向下向と許り叫ぶなり。是より出て宇治に昔は下向と下女を云たるとなり、山田へも通じて下女を皆ケゴと言うなり。ケゴの清濁自然と変じたるなり。家僕を計吉と称す (伊勢の浜荻)。おこしごめ 興米 蒸した糯米 (モチゴメ) を乾かし炒ったもの。又それに胡麻や胡桃などを加え水飴に砂糖や蜜などをまぜたものでまぶして固めた菓子。おこし (志 (御座、越賀、船越、布施田、浜島、立神、神明)、鳥、伊) [会話] 今し (今) で言う お手伝いさん、昔は ケゴ おく言うて、百姓な (が) よけ (多く) 有る家は、我が家に 家内 (家族) が すけない (少ない) 時は、ケゴ おく言うてなあ。ケゴ おいてあの方は ケゴ も置いとんねえな (置いているのだ)、ケゴ 二人も置いとんねえな (置いているのだ) 言うて、よけ (沢山) 百姓な (が) ある家は、家の家内な (が) すけなかつたり (すくなかつたり) 病氣したりしとると。

げこ (下戸) 【名詞】 酒の飲めない人

げこいわい (げかういわい) (下向祝) 【名詞】 旅行等から帰った時、無事を喜んでする集会 げこう 祝の略 げこう 還向 伊勢参り をして帰る事 本来は神社、寺に参拝して帰る意。還向は、げんかう の約。神社、佛閣は多く山の高い所に有り下ると言い、言い馴れ還る意となる。(志 (鶴方、甲賀、安乘)) [会話] 旅行やぜんかせぎや (金稼ぎだ) 言うて 他処い (に) 行て (行つて) 来て ゲコイワイ、帰つてくると 昔 (は) しよおった (して居ました)。今しや (今は) まあそれ 新年宴会 や 忘年会 やとか 同窓会 や言うて ごっつお (御馳走) するけど、昔 (は) ごっつお とか 無いもんで (ので)、旅、行く時 は 立ち祝い (出発祝い) 言うてするし、来ると ゲコイワイ するし。昔 (は) なんも (何も) すること 無いも

んで 立ったり、来たり すると 祝いおったわ (祝っていました)。立ち祝いの時 餞別もろて (もらって)、ゲコイワイの時 土産こぼって (配って) ごっつおして いっばんつ (一飯つ・御飯を食べさせて) して、なんも (何も) 無いし、汁と飯 だけ言うて とふはち して そんな (それが) どいらい (大変) ごっつお ったね。とふはち 言うて とふ (豆腐) に葱入れて 吸いもん や なあ (物です)。

げさがた (今朝方) 【名詞】 今日の朝 (松、多) [会話] 明け方 の事を、ケサガタ や (だ) 言うのなあ (言うのです)。ケサガタ めえ さましたや (目覚ましたら) 寝やれんで (寝られなくて) 言うて、今日の朝言うの朝まあ 起きよ (起きよう) としとんねけど (しているのだが) ねぶ となつて (眠くなつて) 来てとかなあ また寝たて (寝てしまつて) とか言うてな 朝方 寝たて 言う時 な (が) あるやんかい (有ります)。それを ケサガタ 言うのなあ。おおた ケサガタ 夢見 てな あたら (とか) 言うてな。

げざかな (下魚) 【名詞】 下等な魚。値段の安い魚。[会話] ゲザカナ 言うて まあ だ 鯛や とかなあ うま ない (まずい) 魚 ゲザカナ なあ (です)。ゲザカナ ばっか (ばかり) より よお 食わんし (食べられない) 言うてなあ 上魚 よおくわん おら まあ (俺は) 安い ゲザカナ ばっか こお て、くとんね (ばかり買って食べているのだ) 言うてな。さいら やたら (秋刀魚だとか) 鯛 やたら 言うて 魚 のうちではなあ 一番 げやわいなあ (下です)。

げさく (下作) 【形容詞】 品の悪いさま。下品。淫猥。(志 (布施田)、鳥) [会話] 便所 へ行く言うて ゲサク なもんで (ので)、高山 山行く言うて。

げさくい、げさくな (下作) 【形容詞】 下品で有る (員) [会話] ゲサク な 言うのは な 行儀 の わり (悪い) 事言うの な (です)。手づかみ で 食う たり (食べたり) 人 な (が) おと こ (居る所) で、げ つ ぶ し たり 欠 伸 し たり へえ (屁) へ つ たり なあ、お お た (ああ) ゲサク な ヨ オ 見 よ、あ い な (あんな) 人 の と こ で (所で) へえ (屁) へ つ て 言うて。ゲサク で 行 儀 も なん も (全く) 知 ら ん ね よ つ て ん (ないのだから) 言うて。ゲサク で 人 の と こ い (所に) い か よ か れ (行かれない) 言うて。

げざし 【名詞】 前兆 事の起こる前ぶれ

げざしてきた 兆しが表れた

げざしとる 兆しが表れた、表れて居る (志 (甲賀))

げし (芥子) 【名詞】 天然に出来た極小の真珠 ケシの

実の小さい事からの例

けしきばる (気色) 【自ラ五】 気持ちが外に表れる むつとした表情になる。憤慨する。[会話] なんか (なにか) こお 怒って、人の言う事が 癪んさわって、いたるのをなあ (腹が立って行ってしまふのを) そお ゆうばやい (場合) も 言うなあ (言います)。あやま あ ケシキバツンネド (ているのだ) 言うて、ちよいと (少し) 怒ってまあ しゃっぷしとんねどお (膨れているのだ) 言うのを しゃっぷ (腹立てて) して、いたたれ (行ってしまった) 言うてな、怒った ぷん として、気にさわってなあ あやまあ おつけいちんびん (味噌汁に珍皮) で ぷんときたれ (来た) 言うてな。

げじげじ (姉姪) 【名詞】 1) 頭髪が焦げて縮れた状態 (志 (布施田)) 2) 頭髪の不揃いな刈り方 虎刈り 3) 海草 4) 野草 [会話] 1) 火に 髪の毛したると (してやると) ゲジゲジにした、ゲジゲジや (だ) 言うて。3) なんやら (何か) 海ん (に) でも ゲジゲジな (が) よけ (沢山) 掛かったよお言うて。4) 草んも (にも) ゲジゲジ言う草な (が) あんなあ (有ります)。2) 頭でも 頭の髪を刈るやんない (でしょう)。男の人らが そすとさいご (そうするとその時) なんやら (なにか) 揃いのわりよおんしとるのおを (悪いようにしているのを)、ゲジゲジ言うやんかな (言います)。虎刈りみたいに (のように) して ゲジゲジみたいにして よお言うやんない (よく言うでしょう)。火へ髪したると (してやると) ジジジ 言うてげじした。

けしずみ (消炭) 【名詞】 1) 燃え残りの火 又一度火になった炭を消した炭 2) 短気者 [会話] 1) ケシズミは 焚き火のおを (のを) 水で消すとか 消し壺でするとか言うのな (のが) ケシズミ 炭焼きな (が) 焼くのは 堅炭や (です)。

けしつぼ (消壺) 【名詞】 消え残りの火、又は一度火のついた炭を消すための陶製の蓋の付いた壺 [会話] 消し炭せえよお (しなさい) 言うて ケシツボ 有って それい (に) 入れて。

けじめ (けぢめ) 【名詞】 守るべき道徳や規範などにより、行動や態度につける 区別 節度ある態度 (志 (布施田)) [会話] ケジメつけなはざんわれ (なければいけない) 言うて、こげな (こんな) 事 ぼつかしとらんと (ばかりしていなくて) ほかい (へ) 仕事変えるとか、方法変えるとか、ケジメつけて せな (しなければ) こいな (こんな) 事 ぼつかしととも

こやまあ はざんどお (駄目だ) 言うてな。ぶらぶらと 遊んどてなあ (でいて) しとると (している) ケジメつけて、はっきりせなはざんわれ 言うてな。仕事せんと (せずに) ぶらぶらしとるのおを (しているのを) 仕事も探して、ケジメつけて せなはざんわれ 言うて、けりつけるとか、ケジメつけるとかなあ きりつける言う事やなあ (です)。はっきりと、せんならせん (しないならしない) するならする 言うて、ま はっきりと せなはざんわれ 言う事な (です)。

けしよ (けしやう) (化粧) 【名詞】 けしやう 白粉や紅などをつけて顔などを美しく見せるようにする [会話] オケシヨ なんも (全く) したこた (事は) ねえけどな (無いが)、ケシヨ 壁 塗っても ケシヨ して言うて 上塗りすると ケシヨしたとか 上の方飾ると あやあれまあ ケシヨしてまあ 言うて 化粧まあし すもとり (相撲取り) のあれも ケシヨやわな (です)。飾りやよってなあ (だから) 化粧言うのを ケシヨ 化粧 顔い化粧する 言うのも ケシヨ せななあ (しなければ) 言うて。

げじよ (げじよ) (下女) 【名詞】 雑用に使われる召使女 女中 シモオンナ (下女) の音読 (大言海) [会話] ゲシヨ 下男。今しの (今の) お手伝いなあ。

けしよおとし 【名詞】 化粧のためつけた顔料を拭き取ること [会話] 顔おとす ケシヨオトシ 言うのなあ (のです)。化粧する人ら (が) ケシヨオトシ すんの言うんやろ (するのを言うのでしょうか)。

けしよく (けそく) (華足) 【名詞】 菓子や餅などを盛って仏前に供える高杯 [会話] 仏さんのケシヨク。

けしよのきい 【名詞】 植物 おしろいばな おしろいのきい参照 [会話] ケシヨノキイな (が) 有って、黒いもも (実) な なつとんのなあ (なっているのです)。広の浜い (に) 行くと、よおけ (沢山) 有って。それの (それが) あかろで (熟して) 来ると、中い (に) しいるい (白い) のおな (のが) 出て来てなあ 手のひらい (に) つばきで (唾で) 溶いといて (ておいて) ままごと遊びに けしよ (化粧) しよおったなあ (して居ました)。

けじらみ (毛虱) 【名詞】 陰毛の中に生息する虱 体長 1.5mm内外、体は黄灰白で、横に巾広い。

けしろ 【名詞】 煙管 きせる (志、伊、桑市、三、四、鈴市、安、南)

げじろ (下白) 【名詞】 砂糖 精製の完全でない白砂糖 やや荒く黄色味を帯びる (志 (布施田)) [会話] さと (砂糖) も きざらや ゲジロや しろざと (白砂

糖)。

げす【名詞】 1) 洗い場(台所・風呂場等)で、たたきの上に置く縞子板 げすいたの略(志(鶴方、神明、立神、国府)、阿、張、名) 2) 上げ底(張) 3) 下水(志、鳥(国崎)、員)[会話] 1) 風呂のゲスイタ、昔は、ゲスイタ入れおったもんなあ(入れて居たものです)。2) なんでも(すべて) かしん(菓子)でも こいなもんな(こんなものが)して有ると、ゲス言うて、ゲスイタな(が) ひいて(敷いて)ある。下い(に)敷くのを ゲスイタなあ(です)。風呂でも 流し(台所の流し台)でも 下に敷くもんを(もの)を ゲスイタ敷いといけ。

げす(下水、下種)【名詞】 1) 下衆。身分の卑しい者。(大言海)シモジモ(下下)のシジャウ(種姓)の義 2) 下品な事を言ったりしたりする意

げすい(下種)【形容詞】 下品だ。ゲス(下種)を活用した語(大言海)(志(鶴方、神明、立神、国府、安乗)、鳥、名、鈴市、安、多、上、阿、張、度、南)[会話] ゲスイ言うのはなあ 下品な事を言うの(のです)。

げすいた【名詞】 げすの1)と同じ 下水板(志(浜島、鶴方、神明、立神、甲賀、国府、安乗)、鳥、員、上、阿、尾、南、熊)

げすぐち【名詞】 1) 食べ物に好き嫌いがなく、まずい物でも何でも食べる人 2) 下品な言葉を使う人 [会話] 1) 食うもん(食べる物)を わりもん食うても(悪い物食べても) ゲスグチやよってん(だから)言うて、南瓜や 菜っ葉や なすびばっか(茄子ばかり) くとの(食べているのを) おら(俺は)まあ ゲスグチやよってん こんでも(これでも) 上等ん(に) うまいんよお(美味しいのだ)言うてな。2) そして、汚い言葉で言うのをなあ あや(彼は) ゲスグチでまあ 言葉な(が) わりいて(悪くて)言うてな あんたらさん(貴方方)言うて 言うのんなあ(の)に のらよ(お前達) わいらよ(お前達)何処い(に) いくど(行くか)言うて 言うやんかい(言います)。そいなのおを(そんなのを) ゲスグチ言うねやんかい(言うのです)。

げすつばい【自ラ五】 非常に下劣で有る 下種張

げずりこ(けづりこ)(削粉)【名詞】 鯉節の形を整える時、削って出来る粉末(上、阿、張、名、南)[会話] 鯉節 出荷すのに(するの)、じっぱんなあ(立派に) すべよおしとるやがな(表面が滑になっているでしょう)。炊いたなんがりんのおを(まもののを)

削んねやんかな(削るのです) 職人な(が)削って じっぱん(立派に) すべよおしとるやんない(滑らかにしているでしょう)、あげん(あんなに)なる迄 じっぱん削んね 削り節なあ(です)。それを ケズリコ言うのなあ(です)、鯉節を出荷する迄に 上の見苦しい所を 皆、削るんやわ(削るのです)、上のかあや(皮です)。そすと(そうすると)それを ケズリコを 袋い(に)入れて買いおつた(買って居たのです)。昔やなあ(は) ケズリコ、買いに行こや(行きましょう)言うて、削る家い(に) 買いん(に) いきよおつた(行って居ました)。

げずりこみそ(削粉味噌)【名詞】 味噌の中へ削り粉を入れて混ぜたもの(鳥)[会話] 生味噌 そんなり(そのまま)は 味噌臭いけど、削り粉入れたらと(入れてやると) うもおて(うまくて) ケズリコミソは 一番ごつつおやつた(御馳走だった)。

げずりぶし(削節)【名詞】 鯉節の形を整えるのに、削った時に出るもの げずりこと同じ [会話] 味噌い(に) ケズリブシ入れて、そすと(そうすると) 美味いねてや(のです) ちゃんちゃ汁な(が)。

げずれる(けづれる)(削)【自ラ下一】 削られて小さくなる [会話] ケズレてくると そげてた(細くなった)。

げせる【名詞】 煙管(志、鳥(国崎)、三、鈴郡、鈴市、上、阿、度、南)

げせる【名詞】 煙管(志、鳥(石鏡、国崎)、松、員、三、鈴郡、鈴市、一、上、阿、張、名、度、南)

げそ(けそう、けさう)(懸相)【名詞】 懸相 思いをかける事 恋をすること けんさう(懸相)のんの無音化したもの けさうの略

げそく(花足)(華足)【名詞】 けしよくと同じ 仏前に供える物などを盛る高杯 華やかに飾れる脚の意(大言海)

げそつと【副詞】 随分ひどく 物が急激に減少するさま(志(布施田))

げそられる 病気など軽く症状が表れる 少しその気にさせられる [会話] ちよいと(少し)、まあ ほんもんやなしん(本物でなくて) ちよいと(少し)やられただけをなあ ケソラレル。

げそる 病気が軽く表れる その気分になる(気そそる)

げたあずける 1) 一任する 2) 内密に先廻りする [会話] 2) ゲタアズケル 言うて、今日は あずこい(あすこへ) 人な(が) 来るよつてん(から)言うて

先ん (に) なんしよ (内緒) で 言うの。まあ ちよ
いと (少し) ゲタアズケトイテ (ておいて) 来るよっ
てん (から) 言うて 言うのなあ (です)。先い
(に) なんしよで その仕事する前ん (に) 言うのを
な ちよいと ゲタアズケトイテ 来た。1) あんたん
(貴方に) ゲタアズケンナア (あずけます) 言うて
全部まかすなあ (まかせます) 言うのなあ あれん
(彼に) まあ ゲタアズケタ よってん (から) 言う
て 安心する事なあ (です)。

けたい (卦体) (怪態) 【名詞】 希代 変だ 不思議 け
ったい キタイ (希代) の急呼の転 キとケの訛 け
ったい参照 (松、多、上、阿、張、度)

けたいくそ (卦体糞) 【名詞】 1) 縁起 (悪い時) (阿、
張、名、一、多、伊) 2) 気分 気持 (伊、伊賀地
方)

けたいくそなわり いまいましい (張)。縁起が悪い。

けたいな 変だ 奇妙だ (伊、員、鈴市、安、張、度)

けたいなわり いまいましい 腹が立つ 縁起が悪い
[会話] けたくそなわり言うのと 一緒やけどなあ
(です) ケイタイナワリも。

けたくそ 【名詞】 1) 気持 気分 (志 (鶴方、神明、立
神)、度、南) 2) 縁起 (度、南)

けたくそわり。けたくそわるい (卦体糞悪) いまいま
しい 卦体糞 卦体を強めて言う語 いまいましい け
たくそ (志 (浜島、布施田)、度、南、熊) [会話]
ケタクソワリ言うな (言うのは) けったいやなあ言う
て、あいな (あんな) 事言うて ケタクソワリナア、
縁起な (が) わり (悪い) 言う事やるなあ (でし
ょう)。けたいな (が) わり言うんよってなあ (悪い言
うのだから)、縁起かついで あげな (あんな) 事言
うて けたいなわりなあ言うて、縁起とる (かつぐ)
人ら (達) は ちよいと (少し) 気になる事言う
と けたいなわりなあ。ケタクソワリなあ あの人の言う
事は 言うてなあ。いやな事の意味やなしに (でなく
て) 縁起がわり言う事を、わがとな (自分が) あげん
(あんなに) して、ほた (ああ) 気な (が) わりな
(悪い) 言うて、神経 病む言う事を 気な (が) わ
りなあ 言うて 神経かまうねやるなあ (気になるの
でしょう) とる (縁起かつぐ) 言う事は。

けたたまし 【形容詞】 さわがしい 疍高くうるさい

けたば (毛髪) 【名詞】 日本髪に結う時に入れ添える毛
髪 (鳥、尾) [会話] はいからん (に) 結う時ん
(に) 浮かすの (のを)、まるけといて (丸めとい
て) 中い (に) 入れんの (いれるのを) ケタボ 入髪

やなしん (でなくて)。

けだもん 【名詞】 1) 獣 獣 畜生 ケノモノ (毛之
物) の転 (大言海) (員、尾) 2) 狡い人間 [会話]

1) ケダモンみたよおな (のようだ) 言うて 親とこお
(子) と 一緒ん (に) になると ケダモンみたよおな
なあ言うて、畜生の事 ケダモンや (です)。動物
狐や (だ) とか、狸や とか言うてな 獣の事を ケ
ダモン言うのな。2) すべっこい (ずるい) 様な人な
(が) 来ると、ケダモンな (が) 来たどお (ぞ) 言う
のな (です)。なんやら すかん (なにか嫌な) 様な、
すべっこい様な人な (が) おるやんかい (居ります)
あや (あれ) ケダモンな (が) 来たどお 言うて、好
かん 人な (が) 来たど (ぞ) 言うのな、にげ (人
間) のする わざ (業) を、せんもん (しない者) を
あや (彼は) ケダモンみたよな にげやなあ (人間
だ) 言うて。

けだり 【形容詞】 だるい (鳥 (神島))

けだるい (気怠) 【形容詞】 だるい かいだり参照
(志) [会話] かいだり言う事 ケダるイ言う。

げたをあずける 1) 約束不履行にならぬ準備策 2)
自由に行動出来なくなる事から、その事柄に関する一
切を相手にまかせる。[会話] 1) ゲタヲアズケル。う
わてまし 食わすよおん (ように) 言うのを、ゲタア
ズケル。なんやら (何か) うわてましみたよおに (の
ように) 謎かけるよおなのを ゲタアズケタ。うわて
まし言うな (のは) うわてまし食わして 人な (が)
言おおと思とる (思っている) 事を 先に言うたると
(言ってやると) うわてまし食わして うわてましや
(だ) 言うて 先取りしたるとな (してやると)。

げだん (下段) 下品

けち 【名詞】 1) 欲の深いこと、又、その人 2) 悪口
いまいましいさま 気にくわないさま 3) 不吉な事
縁起の悪い事 (一、度) [会話] 1) よくしんぼ (欲心
坊)、よくしんぼの事を あの人は ケチやなあ (だ)、
何か さっぱりと (直ぐに・素直に) くれると あの
人は さっぱりしとんなあ (あっさりしている) 言う
し、ケチやなあ (だ) あや (彼は) ケチンボや (だ)
言うて。ケチクソ ケチクソや (だ)、あや (かれ
は) まあ ケチンボで、切っても 血がたりやへん
(垂れない) 言うて。けちけち言うのは ものすごお
よくしんぼや (大変欲深だ)。狐やれ (だ) 言うて、
爪で、火、焚くよおに こおと (質素) に するやん
ない (するでしょう)。ケチで まああや (もう彼
は) 爪で ひい焚いとんない (火焚いているのだ) 言

うて。₂) 悪口言うのも ケチつける言うなあ (言います)。ケチつけた言うてな (言つて) ₃) 縁起悪 (悪い) 事言うると、そげん (そんなに) すると のげ (お前の家) は、どおやれ (こうなる) 言うて 縁起かつぐ 人は また、あいな (あんな) 事言うて ケチつけた言うて。

けちくさい【形容詞】 出し惜しみをする。欲が深い。吝だ。

けちくそ【名詞】 1) 欲の深い人。[会話] けち参照
2) 縁起 (員)

けちけち【副詞】 出し惜しみ 金銭など、わずかな出費を惜しむさまをののしって言う語

けちけちする 出し惜しむ (志 (越賀、甲賀))

げちげちなく 感情をたかぶらせて声を出して泣く

けちつく【自カ五】 物惜みする (上、阿)

けちつける 難癖をつける

けちみやく【名詞】 血脉 死人に与えられる護符 檀家寺の僧で、死者に始めて経を稱える時に与える。遺骸と共に納棺する。佛教の語。父祖、子孫の血脉 (血統) 相続の如く法脈を相続する意。(志、鳥、桑市、松、多、南) [会話] ケチミヤク 死んだおりんなあ (時に) ケチミヤク 言うて。みやげケチミヤク 言うて なあ 死んで それい (に) 経帷子着せると、その上い (へ) おっさんなあ (和尚さんが) 南無阿弥陀佛 言うて 書いたのおを (のを) 据えて こいな (こんな) 四角な紙に。

けちる【動詞】 物惜しむする。けちけちする。(志 (布施田)、上、阿、張、南)

けちんぼ【名詞】 吝嗇家 欲の深い人 末尾母音の省略 (志 (志島、片田、浜島、越賀)、鳥 (坂手、答志)) [会話] よくしんぼ (欲の深い人)、ケチンボ、あやまあ (彼は) ケチンボ やよってん (だから) 言うて、して 昔 よくしんぼよ 言うてな 欲な (が) ふっかい (深い) 人。

けつ (穴)【名詞】 1) 尻 (志 (浜島、片田、甲賀)、鳥 (桃取)、桑市、一、上、阿、張、名、度、南) 2) 最下位 けつつ (一、上) [会話] ₁) 尻のケツ、ケツ食え言うて 尻のケツ食ろてけつかれ (食つておれ) 言うて、ごおなわくと (腹が立つと) 言う言葉や (です)。₂) 運動会やどけで (などで) 一番しまい あや (あれは) ケツやなあ (だ) 言うて、最後になる事を ケツや (だ) 言うし。物 出来な (が) わり (悪い) 時でも こやまあ (これはもう) ケツやなあ (だ) 言うて。ケツ蹴られて 目覚ました。

けつかってみよ 1) 居て見なさい して見よ 2) 来て見よ [会話] ₁) ケツカッテミヨ、おって (居て) 見よ どいらい (大変な) 目ん (に) したろん (してやる) 言うて。

けつかられ 1) 居るの卑語 けつかる参照 2) しているの卑語

けつかる【自ラ五】 ある 居る、来るなどの意を卑しめて言う。動詞の連用形、又は、それに助詞を伴った形について、その動詞の示す動作を卑しめて言う。けつは尻、いしきで居る意 (大言海) (志 (浜島、鶴方、甲賀)、鳥 (加茂、坂手)、伊、桑市、員、鈴郡、鈴市、久、一、松、多、上、阿、張、名、度、北、南、熊) [会話] 此処ん (に) おる (居る) 言うのを ケツカル。憎たらし時ん (に) 言うのなあ (です)。ごおなわいて (腹が立って) ごおなわいてしとる (している) 時んなあ (に) 此処ん (に) ケツカル 言うて。そして けだもん (に) 例えてなあ えてもん (が) 此処ん (に) ケツカラレ 言うて。えてもんや (だ) 言うて えてもん言うな (のは) けだもん (の) 事をなあ。

けつかるんか 1) 居るのか して居るのか 2) 来るのか [会話] ₁) ケツカルンカ 言うて おんのか (居るのか) 言うのを ごおなわいとるもんで (腹が立つので) まだ 其処ん (に) ケツカンノカ 言うて。

けつかれ 1) 居れ 2) 来い 3) 行け

けつかんねど して居るのか [会話] なとして (なにをして) ケツカンネド 言うのを なん (なに) しやが つとんねど (して居るのだ) 言うてな。

けつかんのか 1) 居るのか、しているのか けつかるんか参照 2) 来るのか

けつき (血気)【名詞】 元気な事 物にはやる心 血のさわぐ事

げつきゅうどり (げきふとり) (月給取)【名詞】 月給が生活費の中心となる人 勤め人 [会話] 給料貰らう 月、月、働いた分を 一月働いた分を それを ゲツキュードリ。

げづく (気付)【自カ五】 その気配が表れる 産ケツク (四、津、張) [会話] サンケツク はらけん (に) なって来たのを サンケツク。まあ はらけん (に) なって来たれ (来ました) 言うて、ちよいちよい (少しづつ) 腹な (が) いと (な) な (って) 痛 (な) な (って) 来たよ (つて) (から) はらけん (に) なって来た言うて サンケツク (イテ) 来て 陣痛 (な) (が) 来たのを。

げつく。げつくさん【名詞】 外宮 (員、三、鈴郡、鈴市) [会話] げく (外宮) ないく (内宮) ゲックサン

言う。ゲックサンえ 先い(に)参いらな(なければ)ゲックサンえいこや(へ行きましょう)言うのなあ(です)。外官言うのをな ゲックサン ゲックないく(内宮)言うて。

けつくらえ 嫌だ 知るものか 腹の立つ時(南) [会話] ごおなわいとる(腹が立っている)時んなあ(に)ケツクラエ言うて。尻くらえ言うのを ケツクラエ。けつも尻も一緒やけどなあ(です)。言い方な(が)違うの(のです)。ケツクラエ言う にげ(人間)も有るし 尻くらえ言う にげも有るし、十六筋の菊水(肛門)をねぶってけつかれ(おれ)言うてなケツクラエ言うな(のは)一番わり(悪い)事やわい(です)。

げっけん(げきけん)(撃剣)【名詞】 剣術 剣道(鈴木、安) [会話] ゲッケン けんじつ(剣術)の事をゲッケンなあ(です)。ちゃんちゃんとすんのを(する)のを けんじつ 言うてな ゲッケンも 習らわな(なければ)言うて 言よおったなあ(言って居ました)。

けっこおけだらけねこはいだらけ【俚諺】 ざれ言葉 嬉しい時に用いる

けっこおじん(結構人)【名詞】 1) 気立てのよい人 お人好し 又は、愚かな人 結構 気立てのよいさま(上、阿、張、名) 2) 裕福な人 [会話] 1) あの人 結構な人やなあ(だ)。心な(が) ええ(よい)人をなあ ケッコオジン。2) 金持ちの人でも ケッコオジンやよってん(だから)言う。金もよけ(沢山)有って 心もよおて(よくて)豊かな人を ケッコオジンや(だ)言うて。人な(が) 見ても 羨やまし 金も有るし 物も有るし 物も出来るし そお言う人をあの人 ケッコオジンやなあ(だ)言うて。

けつする(決)【動詞】 決断する [会話] ケツスル言うな(のは) 覚悟する 覚悟を決めた言うてな 決める事を ケツスル言うてな。

けつする(結)【動詞】 便秘する 結は秘結の略(大言海)(員) [会話] 便秘するのも 便な(が) ケツスル 便な(が) 出やんで(出なくて) 難儀しとる(している) 困難の到りや(だ)。

けつそお(けつそう けつさう)(血相)【名詞】 顔色 顔の様子 [会話] あの人 ケツソオ変えて 行きおったない(行ったぞ)。まあ びっくりして行く事をケツソオ変えて 行たない(行った)。顔の色変えて、顔の色や そぶりななあ(動作が)、どいらい(大変) いそんだよおなふう(急いだ格好) すん(する)

のを ケツソオ変えて。あの人 ケツソオ違うなあ(が違います) 言う事は有るなあ(有ります)。顔色が悪い時に ケツソオな(が) わりなあ(悪い)。ケツソオが変わる。何かにびっくりして 慌てて走ったり、しとる(している)時 ケツソオ変えて走ったなあ、なんか(何か) まあ びっくりした時は 顔もち(顔相)も違うわな(違う)、そお言う時の あれやなあ。

げっそり【副詞】 1) あきれるさま 愛想がつきるさま 嫌になるさま(鳥(加茂)、阿、上) 2) すっかり 3) がっかりするさま 失望(志(布施田、甲賀)、鳥(加茂)、松、員、鈴郡、一、上、阿、張、名、尾、北) 4) 急に衰弱したり痩せたりする様 [会話] 1) ゲツソリした言うの、あの人見たら 行儀な(が) わりいて(悪くて)、ゲツソリしたよお(しました)言うてな、3) なんか わりと(何か悪いと)、わがと(自分が) おもとる(思っている)事より わり(悪い)ことすると、おおた ゲツソリやなあ(だ) ゲツソリしたよお(しました)言うて。4) 痩せて ものすごお(大変) やせこけとる(ている)事もなあ、ゲツソリしとんなあ(している) ゲツソリ痩せとんなあ(している)。あの人痩せてなあ ぎっす(バッタ) みたいやなあ(だなあ)とか、痩せて 体な(が) ひっそりなっていたなあ(なっていた)、痩せて ひっそりとなっていた。病気で ゲツソリ痩せたなあ言うやんかい(言います)。

げっそりする 1) 急に痩せるさま 急に気力がなくなるさま 意気消沈するさま 2) 失望する げっそり参照(鳥(鳥羽)) [会話] 2) ゲツソリスル言うのは、前に言うた(言った) げっそりと同じ事。げっそりした言うな(言うのは) おおた げっそりやなあ(だ) 言うて、わり(悪い)事すると あの人のするこた(事は) ゲツソリスルなあ。

けつそん(欠損)【名詞】 金銭上の損失 収入よりも支出がふえる事 赤字 [会話] 損な(が) いく(する) 言う事をな(です)。損して かんじょん(計算に) 合わん事をなあ ケツソソ言う。

けつたい(卦体)【名詞】 奇妙 不思議(志(鵜方、神明、立神、志島)、鈴木、安、津、松、上、張、名、度) [会話] 変な人やなあ(だ) 言うのな、ケツタイ な人やわなあ(だ) あの人言うてなあ おおた あやほんどん(彼は本当に) おかしげなねえなあ(のだ) 言うのをなあ。

けつたいくそわり 1) 腹立たい 気分がすぐれない

(志(立神)、張) 2) 縁起が悪い(志(鶴方)、鳥)

[会話] 1) 今日ではまあ ケタイクソナ (が) ワリひい やなあ (悪るい日だ) 言うて。物事が はかどらへん となあ (ないと)、思うよん行かんとなあ (ように行かないと)、今日は ケツイクソナワリイテ (悪くて) 朝から あいな (あんな) 事 言うたもんで (言ったので) ケツイクソナワリワレ (悪るい) 言うて。

けったいな【形容詞】面白い 変な 妙な 不思議なさま いまいましい 卦体の促音添加 けたくそわるい 参照(志(浜島)、鳥、伊、桑市、員、三、鈴市、安、一、久、松、多、上、阿、張、名、度) [会話] ケツイナ人やなあ (だ) あの人(は)言うて。変な事をなあ。ちよいと (少し) 変わつとる (ている) 人の事を あの人(は) ケツイナ人や (だ) 言うてなあ 変わつとるとなあ (ていると)。

けったおす 蹴り倒す 蹴る (三、鈴市)

けったくそ【名詞】【形容動詞】いまいましい事 またそのさま(松、度)

けったくそわり 1) 気が晴れない 腹立たしい 2) 気持が悪い(北) 3) 縁起が悪い [会話] 1) 今日では 加減なわりいて (調子が悪るくて) ケツクソワリ 言うてなあ。仕事しても 調子な (が) わりとなあ (悪いと)。あの人とおると (居ると) 気持ちな (が) わりなあ (悪るい) ケツクソナワリナア 言うてな、なんか (なにか) 憂えみたまよもん (のようなもの) 持つとる (ている) 人見ると ケツイクソワリ (悪るい) 言うのも 一緒ざんかい (です)。

けったる(蹴) 仲間に入れない はずす はねつける 拒否する 約束を破る けてやる [会話] 足で蹴つとばかされた(された) 言うのも有る、仲間外れん (に) したんのも (してやるのも) あやまあ 仲間ん (に) 入れんと (ずに) ケツタレ 言うてなあ。そして お金の計算する時ん (に) 五厘とか、三厘とか そいなもな (そんなものは) ケツケ (はねてやれ) 言うて、半端が有る時ん (に) 割られやせんと (ないと)、ケツケ 言うてな。あんな (彼が) あいな (あんな) 事 言うとるけど (ているが) ケツタレ 言うて、きろたたのおを (嫌らってやったのを)。仲間は ずれん (に) したた (してやった) 言う事を あの人、ケツタレ (てやった)。あいなすかん (あんないやな) 人 ケツヤええわれ (けてやればよろしい) 言うてな、仲間い (に) 入れんでええわれ (入れなくてよろしい) 言う事をな。

けっち(吝)【形容詞】吝。吝嗇。金銭や品物を出し惜

しみする事

けつつ【名詞】1) 尻(志(立神、安乗)、伊、桑市、鈴市、鈴郡、安、一、久、松、度) 2) 最後 一番うしろ(一) [会話] 1) ケツツ 尻のけつ。尻の事と、2) 一番 終いも 一番ケツツやれ (終だ) 言うて、はしりやい (走りくらべ) して べとおん (最後に) なったの あや (彼は) べとやれ (終りだ) 言うたり、あやあれ (あれあれ) けつから 一番やれ 言うたりな。

ケット【名詞】毛布。ブランケットの略(員、南)

けつとお(けつとう)【血統】【名詞】遺伝 系統 人又は家畜で先祖との血縁関係を言う(度、熊)

けつとばかされた 1) 蹴られた 2) 仲間はずれにされた 3) 端を削られた [会話] 1) 足で ケットバカサレタ 言うのも有るし、2) 仲間はずれん (に) しやれたのも (されたのも) ケットバカサレタ。

けつとばかす 1) 蹴とばす 蹴る 2) 仲間外れにする [会話] 1) ごおなわいとる (腹の立っている) 時 んなあ (に)、その人な (が) そこん (に) 坐って 足で ケットバカシ といて (ておいて)、ケットバカシテ来たれ (来ました)。見よまあ (見なさい) ごおなわいとんのかして (腹が立っているのか) おんな (俺の) 尻、ケットバカシ といてたれ (ておいて行った) 言うたりな わざとん (故意に) 蹴つといてくのおを (ておいて行くのを)。

けつとばす(蹴飛)【他サ五】1) 蹴とばす ひどく蹴る(度、熊) 2) 拒否する はねつける 仲間外れにする [会話] 1) 座つとん (の) (ているのを) けんのも (蹴るのも) ケットバカス 言うしなあ。2) 仲間外れん (に) すんのも (するの) ケトバカス 言うてなあ。

けつね(狐)【名詞】きつね 狐 犬に似て小さく、吻が細くとがり、尾が太く長い。食肉目、犬科 けんけんとも言う(志(片田、畔名)、鳥(加茂、坂手)、伊、松、桑市、員、鈴郡、鈴市、安、津、久、一、多、上、阿、張、名、度、尾、南) [会話] 狐の事 ケツネ、ケツネに化かされる言うて、狐、言わんと (言わずに) ケツネやなあ (です)。ケツネん 化かされて言うて、壺 (肥え壺) で 風呂いっとたりしたけどなあ (入っていたりしましたが)、そや (それは) ほんどん (本当に) いっとた (入っていた) 人な (が) 有り おったねんなあ (有ったのです)。ケツネん (に) 化かされて、甕 (に) 飛び込んで 風呂入つとた (入っていた)。

けつね【名詞】はがつお きつね参照

けつあな【名詞】 肛門 (志 (国府、片田、越賀、鶴方) 鳥) [会話] ケツノアナ 十六筋の菊水の穴 ケツノアナ 尻の穴言うのを。そやけど (しかし) 尻のぼらや (穴だ) 言よおったやんかい (言って居たのです・言って居たで有りませんか)、ぼら言うて 穴をしりばらも えごと (完全に) 拭いとけよお (拭いておきなさい) 言うて。

けつあなちっちゃい【俚諺】 小心者である [会話] 度胸な (が) 無い にげ (人間) をなあ、あやまあ (彼は) ケツノアナナ、チツチャイ。商売しても おつきいこた (大きい事は) よおせんし (出来ないし) 言うて。臆病もんやなあ (者だ) 臆病で なんも (なんにも) よおせんもん (出来ない者) をなあ。

けつのけえまでぬかれる【俚諺】 徹底的にやっつけられる (志 (布施田))

げっぷ【名詞】 1) 嘔気 胃の中のガスが口から出る現象 (鳥) 2) 物事に飽きる事 [会話] 1) からえずきすんのに (嘔吐するのに、胃に物のない状態ですのに)、ゲツな (が) 出て、食い過ぎると すい (酸っぱい) ゲツな (が) 出て来る言うて、あんな (あれが) 出て来ると、気持ちええけど (いいけど) 出やんとはざんのなあ (出ないと駄目なのです) ゲツな (が) 出やんと (出ないと)。

けつふく 後始末をする (阿、張、名)

けつぶつ【名詞】 衆に抜きんでた人 [会話] 立派な人、優れた人。なんでも (何でも) よお (よく) する人をなあ なんでもよおして (何でもよくして) 偉い人を ケツブツ言うの あの人 ケツブツや よってんなあ (だから) 言うてなあ。

けつまくる 開きなおる (志 (布施田、甲賀)、鳥、多、阿、張、名)

けつまげた 躓いた (志 (甲賀))

けつまげる 1) 躓く つまづく とばげるとも 足先に物が当たり、前のめりになる。(志 (片田、布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥 (加茂)、伊、松、多、度、北、尾) 2) 障害物にぶつかり、しくじる。失敗する。[会話] 1) 石にケツマゲル とびあげて、あいたよお (つまずいて痛い)。嫌なやろ (野郎) めと、ケツマズイタ石は 面は憎うても 後を見る。ケツマゲテモ おおた (ああ) 痛かったなあ 言うて、嫌な野郎も あやすかんなあ (あれは嫌だ) 思ても (思っても) 見返す事を言うんやろなあ (言うのでしょうか)。とばげる (衝突する) 言うのは 貴方のとこ (所) へ やりつけてく (ぶつかっ

ていく) とびあげる (とびあげる・ぶつかる) とか、ややげる (やりあげる・衝突する) とか言うん (言うのです)。ちよいと、とばげて (少し衝突して) 言うてなあ。ややげてた (やりあげる・衝突する) 言うたら 同じ意味やけど (だが)。とびあげた ややげた 言うてなあ 言いよお (言い方) が 違うけど 同じ意味や (です)。

けつまづく (けつまずく) けつまげるに同じ 躓く (志 (浜島、鶴方)、鳥 (加茂)、伊、松、桑郡、桑市、三、四、鈴郡、鈴市、久、一、多、上、阿、張、名、度、北、南、熊)

けつみやく (血脈)【名詞】 死亡した時 仏弟子となって諸仏の位に入った事を表す物 けちみやくに同じ [会話] ケツミヤク言うのは 死んだ時、もろて (貰って) おっさん (和尚さん) が書いてくれんのを (くれるのを)、ケツミヤク この世の土産 ケツミヤク、それもらわな行かれやせん (貰わなければ行けないのです) あの世へ。

けつもえごととふけ 後始末も完全にしなさい。

げつようきょうくん【名詞】 月曜日の朝礼に行われる訓示 [会話] ゲツヨウキョウクン 月曜日はともと (校庭) へ 皆、なるで (並んで)、校長先生な (が) 話しすん (するので) 半時間位。

けつわった 途中で止める 断念する しりを割る [会話] ケツワッタ言うな (言うのは)、あそこの工場に勤めとたけど (勤めていたが)、いやん (に) なって まあ (もう) やめた言う事を ケツワル。あやまあ (彼は) どこん (に) いても (行っても)、すぐん (に) ケツワッテ、やめる事をなあ ケツワル。

けつわり。けつわりきんかくし【名詞】 六尺禪 (上、阿) [会話] 禪、まわし、ケツワリ、ふんどし ふんどして なんたらべえの こちやおもや (思えば)、ケツワリキンカクシのこっちゃなあ。

けつわる (尻割) 途中で止める 放棄する (志 (布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、津、松、上、阿、南) [会話] 仕事 まあ終い迄よおせん (出来なくて) ほっといてくんのを (捨てて来るのを) ケツワル言うてなあ 最後迄 よお (よく) つとめん (ない) 事をなあ ケツワッテキテ言うて。途中で、三日坊主や (だ) 言うて みっかもよおせん (続かないと) 三日坊主や (だ) 言うて。

げてもん (げてももの) (下手物)【名詞】 一般から風変りと見られる物。

げてもんくい【名詞】 異常な物を好んで食べる人

けど。けとお(けたう)(毛唐)【名詞】外国人 西欧人
[会話] ケト、ケトオ言うな(のは)外国人を あや
(彼は)ケトオやよってん(だから)言うて ケトや
(だ)言うて あや ケトと 結婚しとんねてわれ
(しているそうだ)言うて。

…けど。…やけど【接続助詞】けれども しかし けれど
もの約(方言俗語語源辞典)形容詞 ある事柄にそれと逆の、又は関係の薄い事柄を結び付ける。前置きを本題に結び付ける 二つの事柄を単に結び付ける。終助詞 事実とは反対の事柄を願う気持ちを表す。実現しそうにない はかない願いを表す 軽蔑し軽んずる気持ちを表す はっきり言わず、遠回しに述べる気持ちを表す。(志(浜島、布施田、国府)、鳥(桃取、加茂)、伊、桑郡、桑市、員、三、四、鈴郡、鈴市、亀、安、津、一、松、多、上、阿、張、名、度、北、尾、南、熊)[会話] 祭りヤケド 鳥にいとられ(行っている)とか、祭りヤケド のら(お前達・お前らは)仕事しとんのか(しているのか)言う時ん(に)、そいな(そんな)事言うケドナア。ケドは よけ使うなあ(沢山使います)。そげん(そんなに)するケドなあ言うて そやケド(それだが)言うて。

けとお(けとう けたう)。けとおじん(けとうじん けたうじん)【名詞】外国人 特に西欧人 [会話] 外国人をなあ あや(彼は)ケトオジンやよってん(だから)言よおった(言っていました)。

けとばげる つまづく けつまげる参照 [会話] ケトバゲルも とばげるも一緒や(です)。

けどなあ。けどのお【接続詞】けれども 然し(志、阿、北)

ケトン【名詞】毛布 ブランケットの略(志(浜島、布施田、神明、甲賀、安乗)、鳥(鳥羽、答志)、員)
[会話] ケトン巻く奴あ(は)浮気もん(者)茶縹切る奴あ(は) そこだてこき。

…げな(助)【動詞】1) 助動詞 伝聞推量の意を表すだそうだと らしい ようだ(志(波切)、鳥(加茂)、伊、松、桑郡、桑市、三、四、鈴郡、鈴市、安、津、一、久、多、上、阿、張、名、度) 2) 助詞 強調確認 強い否定 否定の意味を込めた疑問の意を表す(伊、北)[会話] 2) そおなゲナ言うんかい(言うのですか)、そいな(そんな)言葉 よけ(多く)使う人あんない(有ります)。そおやゲナ言うて、そおやそおや(そうだそうだ)言うのを ゲナ言うて言うやんかい(言います)。そうやなあ(そうですね)言うの(のを) そおなゲナ言うて。

けなり【形容詞】うらやましい ケ(異)なりの義(大言海)ケはクシ(奇)ケシ(異)の語根(志(浜島、御座、船越、国府、甲賀、布施田、鶴方、神明、立神、志島、安乗)、鳥(相差、答志)、伊、飯、上、張)
[会話] ケナリ言うて、うらやましい事を ケナリなあ、あの人は あげん(あんなに)生活が豊かで、うらやましいなあ言うて、ケナリがる事なあ。ケナリがる 人が人の生活を ケナリがんのなあ(がるのです)、おおた(ああ)ケナリや(羨ましい事だ)、あの人は、生活が豊かで 夫婦仲がよおて(よくて)ケナリなあ。

けなりがらす。けなりがらせる 見せびらかす 羨ましがらせる(阿、張、名)[会話] ケナリガラス言うな(のは)羨ましがらせる言う事やけどのお(です)。おらげや(俺の家は) なんもあられ(なにも有る)かも有られ 言うて 言うのなあ(です)。おらん(俺に)ケナリガラシテ言うて ほしらめる言うてなあ おらをせんぎり(俺を完全に)ケナリガラシテ まあけなりかったなあ言うてな なんやかやもて来て(いろいろ持って来て)見せてなあ すると ほしらめる言うてな ケナリガラス言うての(のです)。

けなりがられる 羨ましがられる(名)[会話] あの家金持ちやし(だし) なんもかもよけ(なにもかも沢山)有って 羨ましなあ けなりなあ言うて、けなりなあ言うね(のです)。羨ましがる言うのをなあ ケナリガラレル言うて。

けなりがる【他ラ五】うらやましがる(志(浜島、御座、船越、国府、甲賀、片田、鶴方、神明、立神、志島、安乗)、鳥(答志、相差)、阿、員、鈴市、安、張、名、上、度、南)

けなりがんね うらやましがって居るのだ

けなりこと うらやましい事、うらやましい [会話] 人な(が) じっばん(立派に)して ええきもん(よい着物)着とると(ていとう)、おおた ケナリコト言うて。わしらも そげんしてほしわ(そんなにして欲しい)言うて。そんして(そんなにして)なりたいわあ言う意味でなあ ケナリコト言うの、私らも そいな きもんな(そんな着物が)着たいわ(です)言う意味やなあ(です)。おおた けなりや(です)言うて。

けなりや。けなりやなあ 羨らやましい [会話] 羨らやましい言うのを ケナリや言うてなあ ケナリヤナア言うて。

けねん(懸念)【名詞】心配する事 気にかかって不安

に思う事

けはい (気配) 【名詞】 漠然と感覚によって、とらえられる物事の様子。ケはキ(気) ハヒは事の広がるを言う。(大言海) けわい [会話] まあ そや (それ) そこい (へ) 誰やら (か) 人な (が) 来るかして (と見えて) ケハイな (が) して来たど (ぞ) 言うやんかい (言います)。なんやら (なにか) 足音な (が) して来たどとか、そいなのおを (そんなのを) ケハイ言うねやろな (言うのでしょうか)。なんやら あしこらで (あのあたりで) 声な (が) すられ (する) こっちや (こちら) 向いて来るケハイな (が) して来たなあ言うて、そんな感じがして来たなあ言うのをな ケハイな (が) して来た。

けはちじょう 【名詞】 黄八丈 絹織物 黄色に縞がある。本来は絹織物だが木綿で似せてあるもの。[会話] 八丈 ほんもん (本物) は どいらい (大変) ねえなええんやんかい (値が高いのです)。そすと (そうすると) ケハチジョウ言うて、木綿で 八丈と 同じよおにしてはやりおった (流行りました)。

けぶくだつ けば立つ 細かい毛で覆われる

けぶたい (煙) 【形容詞】 1) 煙たい けむたいの古風な言い方。けむたい 煙のため、目を開けていたり、息をしたりしにくい。(志(布施田、鶴方、神明、立神、甲賀、国府、安乗)、鳥、伊、員、鈴市、久市、一、多、張、度、尾、北、南、熊) 2) こちらに弱みがあったり、相手が堅苦しかったりして気安く近付きにくい(尾) [会話] 1) けむたい言うのを、ケブタイ。2) 人らが 何や こおしとると (していると) ケブタガッテ言うて、やまし (不正) な事しとると (していると) ケブタガル。

けぶたがる (煙) 【他ラ五】 1) 煙にむせて苦しい 2) 親しみが持たなくて、近寄りたくない けぶたい 参照

けぶり 【名詞】 煙 けむりの古語(志(浜島)、鳥、伊、松、桑市、員、三、四、鈴郡、鈴市、安、一、飯、多、阿、名、度、北、尾、南、熊) [会話] ケブリ言うて 火焚く時 燻ぶるやんかい (ります)。ケブリで こお しろおあがんのを (白く上がるのを) ケブリ、ケブリが 出とるやんか (出ているではないか)。

けぶり (気振) 【名詞】 気配 そぶり 様子

けぶりかぶり 【名詞】 祭 おしよおじ参照

けぶりくさい (煙臭) 【形容詞】 煙の匂いがする。けむたい

けぶりだし (煙出) 【名詞】 煙突 台所の天窗(南) [会

話] ケブリダシ言うな (言うのは)、窓の事を ケブリダシ言うなあ (言います)。焚いて 窓から 煙が出てかんと (出ていかないと)、家ん (に) 皆 煙が舞い込むもんで (ので)、煙り窓があつて ケブリダシ開けとけまあ (開けておきなさい) 言うて。そすると (そうすると) それから 煙が出てくのなあ (いくのです)。天窗は ケブリダシ。

けぶりよけ 【名詞】 天窗 火を燃やすかまどの上の屋根を一部開放した所 採光と煙を出す所と兼ねる [会話] ケブリヨケは、上に窓や (だ) 言うて、ちっちゃいのな (小さいのが) あいとるわい (開いています)。棒で 突っ張っといて (ておいて)、よさや (夜は) ぱたんと落として。

けぶる (煙) 【自ラ五】 くすくすと不完全燃焼している状態 燃え上がらず煙の多く出る状態 けむるの古形(伊、鈴市、南) [会話] けぶりも一緒の事 くすぼつとて (燻っていて) ケブル言うて けぶたい (けむい)。

けもん (けもの) (獣) 【名詞】 獣。全身毛の有る四足の動物。けだもん

…**けや (けりゃ)** ければ [会話] よケヤ (よければ) 言うて、よかつたら言うて、一緒の意味やけどなあ (だけれど) よけりや言うのも よかつたら言うのも 一緒やけど (だけど)。

けやい 【名詞】 けあい 蹴合 互に蹴り合う事 転じて 喧嘩

けやう 【動詞】 【他五】 蹴り合う 喧嘩する

けやしとけ 消しておけ

けやす 消す(志(浜島)、員、三、鈴市、鈴郡、松、上、阿、張、名、南、熊)

けり 【名詞】 物事の終り 決着 結末 和歌、俳句など けりで終わるものが多い事から [会話] こおこ (香物) は、ふたきれ (二切)、博打はみきれ (見切れ)、言うて 見切れ言うのは はよ (早く) ケリつけえ (つけよ) 言うの (のです)。

けりつける 結末をつける しめくくる [会話] ケリツケル言うのは 仕事をきめる (終わる) 言う事なあ (です)。此も 早よ (早く) まあ しやええ (すればよい)、そげん (そんなに) 何時まで ひろげさがしとらんと (ていなくて) ケリツケテ まあ 片付けなはざんわれ (なければ駄目だ) 言うて な、決めたる (終わってしまう) 言う事をな。遊んで ぶらぶらしとんのを (しているのを) 仕事も探して けじめつけて せなはざんわれ 言うてな。

けりゃ【接続助詞】 なければ けやに同じ (伊、鈴市、松、多、伊賀地方、度、尾、南)

けりやい (けりあい、けりあひ) (職合)【名詞】 蹴り合い 互いに蹴り合う事 喧嘩 [会話] ケリヤイ言うのも言うやんかい (言うで有りませんか)。ふたんな (二人が) ケリヤイしとる (している) と、あやれケリヤイしとんな (している) ふたんな 言うて。あんな (あれが) 蹴った こんな (これが) 蹴った言うて よおするやんかい (よくします)。子供らななあ お前が 蹴っておこしたやんかてや (でないか言え) ば) のな (お前が) 蹴っておこしたやんか 言うてケリヤイスんのなあ (するのです)。ケリヤイ言うな (のは) “や” やんな (です)。蹴合い言う人もおるな (居ます)。ケリヤイ言う人もおるしなあ ケリヤイも 蹴合いも一緒やけど (ですが)。

ける (蹴)【他ラ五】 1) 断って受け付けない はねつける 拒絶する もと歌舞伎の楽屋言葉 役を断わる 2) 金銭、品物の端数を計算しない 3) 仲間外れにする [会話] 3) 仲間外れん (に) すんのもなあ (するもの) そしたら まあ 蹴ったれ (てやれ) 言うて けったるも ケルも一緒の事や (です)。

…げる するの強調 あゲル [会話] とびやげられた (衝突された) 言うのと、とびやゲル (衝突した) 言うのと、とびやげられた言うのは 人がとびやげて (衝突して) 来た言うのなし (言うのですし)、とびやげた (衝突した) 言うのは わがと (自分) の方から とびやげてたのおなし (衝突していたのです) 同じ意味やけど (だけれど)。

げろげろ【名詞】 嘔吐 嘔吐物 食べた物を胃から吐き出す事、又、その物 [会話] ゲロゲロして 吐いて まあ、吐いて言うのをな ゲロシテ言うて ゲロハイテまあ 言うて。

げろして 嘔吐して 吐いて [会話] 吐いた事をなあ ゲロシテ言うのなあ (言うのです)。子供らな (が) 吐いたりしたや (したら) ゲロシテ、そやれまあ (それ) 言うて。

けろっと【副詞】 知らぬ顔 厚顔無恥 平気で居るさま (志 (布施田)、鳥) [会話] ケロットしとんな (している)、へえ (屁) ひつても 知らん顔しとんの (しているのを) ケロットしとる (している) 言うてな、知らん顔して ケロットしとんない (している) 言うて、えんじよ (遠慮) もせんと (せずに) 言うてなあ。そして 具合な (が) わりいて (悪くて) ぐんぐん言うとても (ていても) 熱な (が) さめて し

やんしやんしとると あやまあ ケロットしとんない 言うてなあ。具合な (が) わり (悪い) 言うたの (のに) ケロットしとんねてや (しているのです) ま平気でおる言う事や (です)。

けわい (けはひ)【名詞】 気配 けはい 漠然と全体の感覚によって感じられる物事の様子 雰囲気 人の言葉、態度などから察しられる様子 (伊) [会話] けはいと一緒やけど (だが)、ケワイな (が) して来た言うて けはいの事をなあ ケワイな (が) して来たとか けはいな (が) して来たとか言うてな。

けわし (けはし) (険)【形容詞】 1) けわしい 山や坂などが傾斜が急で、登るのに困難である 2) 顔つきが恐ろしい 3) 意地が悪い [会話] 1) ケワシ言うな (のは) 危ないことなあ (です)。山な (が) きっさんしとるとなあ (急傾斜していると) ケワシ山やなあ (だ) 言うて 3) そして ものすごお (大変) こんじよくさり (意地悪) の人をなあ あの人 ケワシ人やなあ (だ) 言うて。すごく (大変) こんじよ (意地) のわり (悪い) 人をなあ、険しい言わんと (言わずに) ケワシ言うて 険しい言う事使わんと (使わずに)。

けん (険) (険)【名詞】 1) 険相のの略 顔つきの鋭い事 2) とげとげしい言葉使い 又は行動

げん (険)【名詞】 1) 気分 気持ち 運 縁起 (志 (浜島、鶴方、神明、立神、志島、甲賀)、桑市、員、鈴市、安、津、上、阿、張、名、北、尾) 2) ある行為を行った時によるききめ、効果 (鳥) [会話] 1) ゲンクソがわり (悪い) 言うて、縁起がわり (悪い) 言うのも一緒やわい (です)。ゲンな (が) わり 言うのも。ゲンクソな (が) わり とか、縁起な (が) わり とか 一緒やけどなあ (ですが)。言い方な (が) 違うだけで 運な (が) わり (悪い) とか 運な (が) むかせん (向かない) 言うのも よお (よく) 似た意味やなあ (です)。

けんおんき (けんをんき) (検温器)【名詞】 体温計

けんかかい (けんくわかい) (喧嘩買)【名詞】 すぐ喧嘩する人 喧嘩早い人 [会話] あやまあ (彼はもう) ケンカカイやよって (だから)、喧嘩ふっかける、にげ (人間) は ケンカカイや (です)。

けんかごし (けんくわごし) (喧嘩腰)【名詞】 喧嘩をしようとする態度

けんかづら (けんくわづら) (喧嘩面)【名詞】 怒り顔 難かしい顔 [会話] ケンカヅラ言うてだ、怒ってなあ 顔ふくろまかして (膨らして) ぶんぶんしとんの

をなあ(しているのを)ケンカツラ言うて。ほおふくらかしたるとなあ(頬膨らしている)いやれ(あれ)ケンカツラしとる(している)言うてな。

けんかばやい(けんくわばやい)(喧嘩早) 何かと言うとすぐ喧嘩を始める気性、又その人。

けんかまく【名詞】 喧嘩腰(志(布施田、鶴方、神明、立神、国府)) [会話] ケンカマクで別れた、喧嘩して、ほおわかれしてまあ言うて、ケンカマクやった(だった)。喧嘩してあれと(あいつ、彼と)もみやがって(もみあがって)、ケンカマクやった。もみやがって言うて いいやい(言い合い、言い争い)する言う事や(だ)。

げんかんさき(げんくわんさき)(玄関先)【名詞】 玄関を出てすぐの所 [会話] 玄関を ひよいと(少し)出たところ(所) ゲンカンサキ。

けんぎ(嫌疑)【名詞】 疑わしい事 特に犯罪の事実があるのではないかと疑い [会話] ケンギな(が) かかった言うて 調べられる事を ケンギや(だ) 言うの(のです)。ケンギな(が) かかって くんど(来るぞ) そいな(そんな) 事すると言うてな、じゅんさな(巡査が) 調べんくんど 言うのをなあ そいな(そんな) 事したら じゅんさなおとしど(巡査が怖いぞ) 言うて ケンギな(が) かかる言うの(のを) おとしど 言うてな。

げんきづく(元気付)【自カ五】 元気になる 衰えていた体の調子よくなって、健康になる。勢力や気力が回復する [会話] まあ なんも食わんと(全く食べずに) 寝とたのん(寝ていたのに) 今日はどうらい(大変) ゲンキツイテキタなあ言うて。 きんにや(昨日は) 風邪で寝とたや(ていたら) 今日が がいん(大変) ゲンキツイテキタなあ言うて。

げんきづけ(元気付)【自カ五】 気力、体力を奮い立たせる事 又そのためのもの [会話] ゲンキツケん(に) 鰻でも こおて(買って) 来て、食わしとけ(食べさせておけ)、玉子酒飲 ませとかな(せておかなければ)。弱って しとんの(しているのを) ひよひよしとるもんで(しているの)で、元気つけるよに 栄養な(が) 有る もん(物) 食べさせ(させよ) とか、飲ませ言う 時んな(に)。ま、ゲンキツケ やらなはざんわれ(やらなければ駄目だ) 言うのなあ。風邪引いて 食わせんし(食べないので) さどがい(砂糖粥) でも炊いて 食わさなはざんわれ(食べさせなければだめだ) 言うて くろざと(黒砂糖) の おかい(粥) して 食わしとけ(食べさせておけ) 言うて。

げんきん(現金)【名詞】 1) すぐ金銭を払って買い物をする事 現金買い 2) 自分が有利になるとすぐ態度を変える人 3) あからさまに、げんきんいい参照 [会話] 1) ゲンキン言うのは 何か こおても(買っても)、すぐに お金を払う時に ゲンキンや(だ) 言うし、後払いにする言うのと ゲンキン言うのと。金の事 ゲンキン。2) あの人 ゲンキンやなあ(だ) 言うなあ(言います)、こお 物やりとり(受け取ったり、与えたり) して 物貰うと、すぐに態度変えてその人に よお(よく) するよおな人も、ゲンキンな人 や(だ) 言うやんかい(言います)。3) ゲンキンやなあ(だなあ) あ のひた(人は) まあ言うて。気の毒がる よおな事をなあ。ゲンキン(あからさま) に言うて そげん(そんなに) 言うたら(言ったら) あの人 な(が) きいわりがる 言うて、ゲンキンに ぼんと 言う人をなあ そいな(そんな) 事 言うたら はざんてや(駄目だ) きいわりがる 言うて よお(よく) 言うやんかいな(言います・言うでは有りませんか)。

げんきんあきない(現金商)【名詞】 現金と引き換えに商品を売買する事 現金売り [会話] ゲンキンアキナイ言う な(のは)、金を すぐん(に) 出すのをなあ 現金やなけな(でなければ) 売らへん(売らない) 事のお(です)。ぜんすぐんと(銭すぐに) 取って来て しなもん(品物) と、お金と引換 んすんの(にするのを) ケツキンアキナイ。

げんきんいい【名詞】 思っ居る事を そのまま 相手の気持ちも考えずに言う人 [会話] かくさんと(隠さずに) ぼん と言う事。ゲンキンイ やなあ(だ) 言うやんかい(言います)。 なんでも、おもた(何でも思った) 事 ぼん と言う人を あの人 ゲンキンイ やなあ 言うて。 がわ(側) の事も なんも 考えとら んと(少しも考えずに) こんに(こんなに) 言うたら 人な(が) 気にするやあかおもて(だらうか思っ)て そおゆうこた(事は) 一切 おもわんと(思わずに)、なんでも わがおもとる(自分が思っている) 事をなあ 人な(が) きいわりがるとも(気分悪がるとも) おもわんと なんでも ずけ 言う人 ゲンキンイ イ空(です)。

げんきんみせ(現金店)。 **げんきんや(現金屋)【名詞】** 商品を現金だけで売る店 掛け売りしない店 [会話] ゲンキンヤ言うて 現金持って かな(行かなければ) 売らへんもんで(ないので) ゲンキンヤ。

げんくそ【名詞】 縁起 気分 気持ち げん参照(名、鈴市、安、張、尾) [会話] ゲンクソ、けたくそわり

(悪い) 言うのと 一緒やなあ (です)。けたいな (が) わり、縁起な (が) わり 言うのなあ (です)。一緒の意味やけどなあ (ですが) ゲンクソわりやら (とか) けたくそわりとは。

げんくそわり【連語】 1) 物事の縁起が悪い (志 (布施田)、南) 2) しゃくにさわる いまいましい (張)

げんげ (紫雲英)【名詞】 蓮華草 (志、鳥 (加茂)、伊、松、桑市、員、三、鈴郡、鈴市、津、一、多、上、阿、張、名、度、北、尾、南、熊) [会話] ゲンゲノハナたんぼ (田圃) に咲くのも れんげ草。昔や (は) 一面に咲いとたけど (咲いていたが) 今しゃ (は) ひとつも咲いとやへんけど (とりはしないけれど) あや (あれは) 農薬で ああ (あのように) なってたんかいね (たのでしょうか)。たんぼの畔 行くと 真っ赤に 咲きおったんねん (咲いていたのです)。

げんげそお (げんげさう)。**げんげのはな【名詞】** 蓮華草 (志 (鶴方)、尾) [会話] 蓮華草を ゲンゲノハナや (だ) 言よおったなあ (言っていました)。げんげ畑や (だ) 言うてなあ うつくしてなあ (美しく) 五月ん (に) になると ゲンゲソオな (が) 咲いてなあ 蓮華草を ゲンゲノハナや (だ) 言うて。

げんげばたけ【名詞】 蓮花草を植えてある畑

げんげばな【名詞】 蓮華の花 げんげのはな参照 (員)

けんけん【名詞】 1) 引き縄 船を走らせながら数本の釣糸を引っ張って行く漁法 速度は5~15 Km/時で、釣糸に魚の掛かった時の衝撃に耐えるよう強い糸を使用する。餌は多く疑似餌で、走らせる事によって生物に見せる (志 (布施田)、尾) 2) 疑似針 [会話] 1) ケンケン引きが 行てなあ (行て) 言うて。

けんけん【名詞】 狐 (阿、張、名)

けんけん【副詞】 つんつんして居るさま 無愛想なさま ござまんなさま 横柄づくなさま、又そう言う人 やかましく邪険に物を言うさま (伊、度) [会話] つんつんすると言う事や (です)、あの人はまあ あてつけて ケンケンして言うて。腹が立つ時に ケンケンする。

けんげん (権限)【名詞】 その立場の権力 権利の範囲 [会話] ケンゲンな (が) 有る人やなあ (だ) あの人言うて、権利な (が) 有る言う事なあ (です)。

けんけんする 無愛想にする つんつんする [会話] 鼻い (へ) 掛けてなあ えらっそぶる (偉そうにする) 事なあ (です)。ぼんぼんとする人をなあ ケンケンスル あの人も ほんどん、おとし (本当に怖い) 人やなあ (だ) 言うて、物凄 えらっそぶって

(偉そうにして) なんもかも (すべて) 其処らん (に) 有るもん (物) を ぼんぼんと 投げるよおな、いきよい (勢い) のなあ、ケンケンシテ 現金 (あからさま) に ぼんぼんとなんやかや (すべて) 言うてなあ ケンケント あの人な (が) えらい (大変な) 人やわな (だ) 言うて、こんじょくさり (意地の悪るい) のひとを。

げんげんばな【名詞】 げんげに同じ 蓮華草 (伊、上、阿、張、名) [会話] ひいらいた (開いた) すうぼんだ (つぼんだ) 言うて、ゲンゲンバナ踊りおった (居ました) 一年せ (生) の時分 (頃)。

げんこ (拳固)【名詞】 1) 固く握った手 にぎりこぶし (鳥) 2) 違約する [会話] 1) ゲンコむくつたれ (殴ってやれ)、なぐつたれ (殴ってやれ) 言うのを、ゲンコむいたれ、ゲンコで むくつとけ言われおった (殴っておけ言われて居ました)。ゲンコでむくつとけ そやまあ言うて。2) 借りとたもんやら (借りていたものとか)、約束破った時ん (に)、ゲンコやられた 言うて。ゲンコツむくられた 言うて、払らわんとなあ (払わないと) ゲンコむくられた まあ あれ (彼) に言うて、まあ あれに ゲンコやられたよお 言うて。

げんこつ (拳骨)【名詞】 墮胎 [会話] 子供 墮ろす のおも (の) ゲンコツ。ゲンコツで 腹を押さえて 腹ん (の) 中のこお (子) 潰すんやろなあ (潰すのでしよう)。

けんざお (けんざを) (間竿)【名詞】 1) 大工が建設現場で用いる一間以上の長い物差し (南、熊) 2) 田植の苗の位置を決める綱 [会話] 1) ケンザオ 言うて 有りおったやんかい (有りました)。竿な (が) 2) たあ (田) 植える時ん (に) 寸な (目印が) とってあんの (有るのを) ケンザワ 言うし、大工な (が) 使うのも ケンザワ 言うし 目盛りな (が) して測るのをなあ ケンザワや (だ) 言うて、ケンザワもて (持って) 来い言うてな。ケンザワや (だ) 言うて すんぼや (だ) 言よおった (言っていました)。言うたら 物指しやんかいな (です) あれは それを ケンザオ 寸な (間隔が) 取ってあんねよってんなあ (有るのだから)。

けんさつ【名詞】 警察 [会話] 駐在所かい (ですか) 駐在所をなあ ちゅうだいな (が) 来た言よおったわなあ (言っていました)。駐在言わんと (言わずに) ちゅうだいさんな (が) くんど (来るぞ) 言うて 警察の事 ケンサツ。

けんざわ【名詞】 長さを測る竿 一間有る けんざおに
同じ参照

けんし(懸思)【名詞】 情夫、結婚前に限る(志(浜島、
甲賀)、鳥(鳥羽)、伊、松、桑市、津、度、北、南)
[会話] 彼氏の事 ケンシ。ひとらけなりや(人は羨
ましい) ケンシや はんし(半紙) わしら(私は) し
りふく(尻拭く) 紙も無い言うて。

けんしき【名詞】 1) 剣幕 横柄(上、阿) 2) 威厳
けんしきなたっかい(見識高)。 **けんしきなつよい** 高
慢で気位が高い。威張る。見識ばる。(志(布施田))
[会話] ケンシキナツヨイ あの人言うてな。 えらっ
そぶる(偉そうにふるまう) 人をなあ、金な(が) 有
るおもて(思つて) ケンシキナツヨイ 言うてな 鼻息
な(が) 荒いことを ケンシキナツヨイ 言うてな。

けんしきばる(見識張)。 **けんしきぶる(見識振)【自ラ
五】** 威張る 高慢に振舞う

けんじつ。 **けんじゅつ(剣術)【名詞】** 剣道、刀の使い
方(三、鈴郡) [会話] けんどや(剣道だ) 言うのな
あ(です)。ケンジツや(だ) 言うてな ケンジツを
学んで あの人えらいんてわれ(偉いそうだ) 言うて
な。

けんじつつかい(けんじつつかひ)(剣術使い)【名詞】
剣道を食の糧とする人 剣道の上手な人 [会話] ケ
ンジツツカイ 言うてな あんで(あれで) 剣道みたよ
なねやろな(のようなのでしょう)。

げんすけ(源助)【名詞】 あてはずれ 失敗 さっぱり
ゲンスケ(志(越賀)、阿、張) [会話] さっぱりゲ
ンスケ言うもんで(言うので) 言うやんかなあ(言う
のです)。なんやら(何か) さっぱりゲンスケやなあ
(だ)、こやまあ(これはもう) 言うて。失敗すると、
さっぱりゲンスケやわ(だ) 言うわい(言います)。

けんぞく(眷属)【名詞】 一族 家来 仲間 親眷愛属
の略(大言海)(上、阿) [会話] ケンゾク 言うと、
家来の事を、狐な(が) ほれ(それ)、お稲荷さんな
(が)、よけ(多く) つれな(連、仲間、友達) 有
ると、あや(彼) ケンゾク 持ちやなあ(だ) 言うて、
稲荷さんの狐とか、よけ 子供やら(とか)、他のつ
れな(を) 連れて来ると、あや(彼は) ケンゾク が
よつけ(沢山) ついて来とられ(来ている)。仲間や
なあ(です) 仲間の事を ケンゾク。狐 よけ 見ると
ケンゾクな(が) よけついとる(沢山付いている) 言
うわい(言います)。餓鬼大将な(が) よけつれとて
も(沢山連れて居ても) ケンゾク つれて。

けんたい【名詞】 おおっぴら 当然 物事を気がねなく

公然とするさま けんたいづく参照(志(鶴方、神明、
甲賀、国府、安乗)、鳥(鳥羽)、桑郡、三、四、鈴市、
安、津、一、松、多、上、阿、張、名、北、尾、南、
熊)

けんたいづく【形容詞】 権利の如く振る舞う。憚りなく
当然の如くやってしまう 公然とする事 無遠慮でず
うずうしいさま なまいきなさま 高ぶるさま(志
(浜島、布施田)、鳥、松、桑郡、三、四、鈴市、安、
津、一、多、上、阿、張、名、北、尾、南、熊) [会
話] ケンタイ 言うのかい(言うのですか)、ケンタイ
に まあ あれを持って(持っていった) くれとか、
言葉かけんと(かけずに) なんでもするとなあ、ケン
タイに あいな(あんな) 事したり 言うたりして
うなあ(言います)。えらっそおに(偉そうに) わが
と(自分が) ケンタイに あれ持たね(持っていつ
たのだ)、すうすう と言うて、そいな(そんな) のを
言うんやろなあ(言うのでしょうか)。ケンタイ ぶつて
えらっそぶつて 言うて、ケンタイ ぶく言うのも 一緒
やるなあ(でしょう)。

けんたいぶる【自ラ五】 高慢にふるまう 高くとまって
威張る(志(浜島)、鳥、多、北) [会話] ケンタイ
ブル なんもかも(すべて) こや(此は) おんなもん
や(俺の物だ)、こや 俺家のもんや 言うて えら
っそぶる(偉そうにする) 事をなあ。そして、なんも
かもなあ(そうしてすべて) わがと(自分が) ケン
タイ になあ 振る舞う 事をなあ ケンタイに あやれ、
あげんして(あれあんなに)、ケンタイ ぶつて 言うて
な 大将 ぶつて 言う事をなあ ケンタイ ぶる言うの
(のです)。

けんたいらし 当然のようにする 高慢である [会話]
ケンタイ ラシ 言うと、当たり 前 みたよおん(みたい
に) 偉っそぶつて(偉そうにして) 命令的に言う感じ
になんねやろなあ(なるのでしょうか)。

けんつく(剣突)【名詞】 暴言 言い返し 横柄な様
生意気なさま(北、尾) [会話] けんづく と一緒や。

けんづく【名詞】 荒々しく、ものを言う 剣突 荒々し
く叱りつける事 とげとげしい言い方をする事 権
突く 権勢にまかせて無理を通す事 横柄づく [会
話] けんけん するのを ケンゾク。けんけん するやん
か(するではありませんか) あの方は 言うやんかな
(言います)。けんけん と まあ 言うて。なんやかや
(何か彼か) するのを あげんして(あんなに) 上手
に言わんと(言わずに)、人をいじくる(いじめる)
よおな言い方をするのを、けんけんする言うけどなあ。

人いじくる言うて いじめるよおな言い方すんのを
(するのを) けんんけして あの人は。あの人は偉そ
おに けんけんして。

けんと (**けんとう** **けんたう**) (**見当**) **【名詞】** 見込み常
識。見当 未知の事に付いて立てた見込み、予想 大
体の方向 方角 [会話] ケントもつかん (つかない)
言うて、めどがつかん (目当てつかない) 言う事
やる (でしょう)。ケントはずれやなあ言うさけん
(から)、ケントがつかんで どっちゃな (どちらが)、
どんだけ (どれ) あんねやら、ねえねやら (あるのか
無いのか)、ケントが判らず 持て (持って) 来たど
か、ケントが判らへんで (判らないので) どっちゃ
がどれぐらい (くらい) 有るやら 無いやら 言うて、
そいな (そんな) 時ん (に) ケント言うわい (言いま
す)。ケントオシ言うて “し” つけて あや (彼
は) ケントオシ言うてなあ あや まあ 阿呆やれ
(だ) 言うのを ケントオシやなあ (だ) 言うね (言
うのです) 見当も よおつけん (よくつけられない)
言うよおな。どんだけ (どれだけ) 有るか ケントも
つかん言うのやし (言うのですし)、そんで (それ
で) なんでも判らん (判らない) 事言うと あや (彼
は) ケントな (が) 判らん (判らない) 事言うて。に
げやったら (人間だったら) 無茶みたいな事言うと、
ケントな判らん 事言うて そや (それは) ケントオシ
やれ (だ)。

けんど **【名詞】** 井 [会話] 井は ケンド、ケンドへ、
なます もって出しおった (よそって出して居まし
た)。大きなのでしといて (作っておいて) ケンドへ
入れて 所々へ置いて。

げんと。**げん**とお 十分以上あるさま 有り余るさま
あきるさま 限度の活用か (志 (波切)) [会話] ゲ
ントした たんの (堪能) した言う事やなあ (です)。
飽きた言う事やなあ。ゲントした。よけ (沢山) 食う
て ゲントしたよお言うやんかい (言うでは有りませ
んか)。よけ食うて ゲントした たんの した事を。

けんとおし (**けんたうし**) (**見当師**) **【名詞】** 向こう見ず
の人 常識はずれの人間 馬鹿 けんと参照 (志 (布
施田))

げんとした 十分に満足した 飽きた 満腹になった
げんとする参照

げんとする 満足する 飽きる 満腹になる (志 (鶴方、
国府、安乗、甲賀)) [会話] ゲントスル ご飯をよ
け (沢山) 食べてなあ ゲントシタなあ言う。いくく
らも (幾度も) 同じもんばっか (物ばかり) 食うとな

あ (食べると) たんのすんのをなあ (堪能するのを)
ゲントシタよお (しました)。てこねばっか (ばかり)
みいくら (三度) も食うたや (食べたら) ゲント
スル 言うて 飽きた言う事な (です)。たんの (堪
能) した 食べもん (物) 以外でも 仕事でも、した
事ばっかしとると (ばかりしていると) ゲントスルな
あ言う 飽きた事をな。きもん (着物) でも着たのば
っか (ばかり) 着とるとなあ (着ていると) おおた
あの人 着たのばっか着とて (着ていて) 見とる (見
ている) 人なあ (が) あやまあ ゲントやわなあ
(だ) 言うてな。着とる (着ている) 人 わが (自分
は) そればっか着とても (そればかり着ていても) な
んもおもとらんでも (全く気にかけなくても) 見る人
な (が) 見とると (見ていると)、あの人、あのきも
んばっか 着て ゲントやなあ (だ) 見たないなあ
(見たくない) 言うてな。

けんとちがい (**けんたうちがひ**) **【名詞】** 見込み違い
見込みの外れる事 見当違

けんとなし (**けんたうなし**) **【名詞】** 向こう見ず 又、
その人 馬鹿 [会話] ケントナシ 言うな (のは)、
なんもかも (なにもかも) 加減つくらんとなあ (せ
ずに) 考えせんとなあ、すんの (せずにするのを) ケ
ントナシ (に) 言うて、無茶苦茶すんの (にするの
です)。飯でも 三人食うのをな 釜 (に) 一杯も
炊くと おおた ケントナシ (に) こげんよけたっ
からかしてまあ (こんなに沢山炊いて) 言うてな。あ
やまあ (彼は) けんとな 分からせんねど (見当が分
からないのだ) 言うてな。下手な事すると けんとな
(が) 分からせんねよって (分からないのだから) ま
あ 無茶苦茶 (に) あやまあ (彼は) なんでも (な
にでも) して言うて。

けんとなわからせん。**けん**となわからん 正常な判断が
出来ない 馬鹿だ (志 (布施田))

げんなおし (**げんなほし**) (駿直) **【名詞】** 物事が具合良
く運ばない時の景気直し 縁起なおし げん参照 (阿
張、名、熊) [会話] ゲンナオシ、縁起なおし、縁起
なおし (に) まあ言うて。げんくそのわり (悪
い) けたくそのわり 言うとなあ ゲンナオシ、しや
ええ (すればよろしい) 言うて、縁起なおし 気嫌な
おし 言う事やわいな (です)。ゲンナオシ (に)
今日は一杯やろや (やりましょう) 言うてな。

げんなり **【副詞】** 1) 食後に胃が一杯でもたれるさま
2) 失望 落胆のさま (志 (布施田、甲賀)、張) [会
話] 2) げんとと一緒に、ゲンナリ した言うて よお

(よく)似た事やわい(です)。

げんなわり 縁起が悪い(志(布施田)) [会話] ゲンナワリ言うな(のは)、なんか(なにか) 仕事でも商売でもあわんとああ(引き合わない) げんくそなわりとかなあ言うて。そして 縁起なおしん(に) 一杯やろや(やりましょう) 言うてな。

けんね (懸念) 【名詞】 気掛かり 心配 けんねん 気にすること ケネンの転 ケネン(懸念) の変化した語 [会話] 考える ケネン言うんかい(言うのですか) あの人 ケネな(が) わりなあ(悪るい) 言うて 考えなわりなあ(悪るい) 言うのを。

げんの (げんのう げんをう) (玄翁) 【名詞】 1) 石屋が粗削りするのに使用する大きな金槌 2) 玄翁和尚がこれで殺生石を砕いたと言う伝説に由来した鉄製の槌(一、松、名) [会話] ① 石、突っ突く ゲンノ、石屋の持つ大きな金槌みたいなもの。どいらい(大きい) 金槌 ハンマーの事を ゲンノ。

けんばい (検徽) 【名詞】 梅毒の有無を診る事。遊女に行なわれた。

けんびき (痲痺) 【名詞】 肩胛骨 肩背部 けんぺき 痲痺の訛(広辞苑)(上、阿、尾) [会話] 肩のケンビキ、肩を この筋を引くのを ケンビキ引く言うやんかい(言います・言うて有りませんか)。うちかたのとこ(所) 引くのも ケンビキひく。

けんぺえづく (けんぺいづく) (権平盡) 【名詞】 威にまかせて無理を通す事

けんめ 【形容詞】 懸命 命懸けで物事をするさま 必死で頑張るさま [会話] 懸命 言わんと、ケンメ。イッショケンメ(一生懸命) で 今日仕事した。“い” 言わんと(言わないで) けんめい言わんと ケンメ、イッショケンメ言うの(のです)。イッショケンメで 仕事したや(したら) くたばった(疲れた) 言うて “め” で 切ったんの(切つてやるのです)。

けんもほろろ 【形容詞】 頼みや相談などを冷淡に断る様とりつく島もないさま [会話] ケンモホロロに断られた 言うて、げんきん(そっけなく) に断つておこした(よこした) 言う事やろなあ(でしょう)。せんぎり(大変) 怒つた言う事やんか(です)、ケンモホロロに 断つておこした とか、怒つとた(怒っていた) 言うて、ケンモホロロやった(だった) 言うて言うの。そやよって ものすごお(それだから大変) 腹立てとる(立てている) 事言うの(のです)。

けんりよ。けんりよお (けんれう) (見料) 【名詞】 見せ物などを見せる時に払う料金 入場料

げんろく (元禄) 【名詞】 元禄袖の着物(多) [会話] ゲンロク 昔 元禄時代ん(に) ゲンロク着とたやんかい(着ていたではありませんか)。それで ゲンロク袖言うんやろなあ(言うのでしょうか)。袖な(が) 底が ちよつとまあう(丸く) 隅がない、底を ちよいとまるめてある(少し丸くしてある)。こちらの人は おおかた(大体) 筒袖着いおった(着ていました)。ちよいと はいからな人になると ゲンロク着いおったなあ(着ていました)。わしらな(が) 十七、八の時分(時に) 流行つて来たの(のです)。